



公益社団法人

鹿児島県診療放射線技師会

会報

令和6年5月

第139号



公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

鹿児島市東坂元4丁目28-11

TEL 099-248-0028

放射線技術学の 調和と進歩



第19回 2024 The Annual Meeting of the Kyushu Radiological Medical Technology 九州放射線医療技術学術大会 in宮崎

第73回 公益社団法人日本放射線技術学会九州支部学術大会
第70回 九州放射線技師学術大会

会期：2024年12月21日(土)・22日(日)

会場：シーガイアコンベンションセンター

大会長 小味 昌憲 (宮崎大学医学部附属病院)
実行委員長 蕪 俊二 (医療法人芳清会 大崎整形外科)

主催：公益社団法人日本放射線技術学会九州支部／九州地域放射線技師会／公益社団法人日本診療放射線技師会

事務局：〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町本原5200 宮崎大学医学部附属病院放射線部 TEL:0985-85-1239

ホームページ：<https://krmt2.org/miyazaki2024/>



in MIYAZAKI

会報（第 139 号） 目次

【巻頭言】

鹿児島県診療放射線技師会 財務理事 渡邊 義治	3
-------------------------	---

【お知らせ】

第 19 回九州放射線医療技術学術大会 in 宮崎のお知らせ	表紙裏面
会告 第 103 回定時総会について	4
第 103 回定時総会・特別講演・春季学術大会のご案内	6
令和 6 年度 春季学術大会 会員研究発表 演題募集のお知らせ	8
令和 6 年度 第一回告示研修（鹿児島）開催のお知らせ	9
会費納入のお願い	10
各種申請について（鹿児島県診療放射線技師会 HP 会員専用ページからの申請方法）	11
会員情報の変更について（日本診療放射線技師会会員情報システムからの変更方法）	12
鹿児島県診療放射線技師会会員限定 LINE 登録のご案内	13

【特集 1】能登半島地震－被災地に派遣された DMAT 隊員の手記

能登半島地震 DMAT 派遣報告 米盛病院 伊藤 大助	14
能登半島地震における DMAT 派遣報告 いまきいれ総合病院 濱田 智太郎	16

【特集 2】鹿児島県原子力防災訓練に参加して

日置会場 参加報告 いまきいれ総合病院 林 幸志郎	18
出水会場 参加報告 出水総合医療センター 中野 孝二	19
長島会場 参加報告 出水総合医療センター 元村 重吉	20

【誌上講義】

[新連載] あなたにもできる放射線被ばく相談（第 1 回） 南州メディカル 川西 義浩	21
[新連載] 博士号への道（第 1 回） 今村総合病院 市來 守	24

【報告】

令和 5 年度 第 4 回 告示研修会 開催報告	27
第 57 回 鹿児島 CT 研究会 開催報告	28
令和 5 年度 鹿児島県放射線機器管理士部会研修会 開催報告	30
第 74 回 鹿児島消化器画像研究会・第 24 回鹿児島超音波研究会 開催報告	32
令和 5 年度 鹿児島県診療放射線技師会 霧島始良地域研修会 開催報告	34
令和 5 年度 大島地域研修会 開催報告	38
令和 5 年度 第 43 回南薩地域研修会 開催報告	39
第 21 回 鹿児島県 医療情報システム研究会&医療画像情報精度管理士部会 開催報告	42
令和 5 年度 鹿児島さくら RT 研修会 開催報告	45

令和5年度 第32回 北薩地域研修会 開催報告	47
第27回 鹿児島MRI研究会 開催報告	50
鹿児島乳腺画像研究会 開催報告	52
令和5年度 鹿児島市夜間急病センター 第3回当直者研修会 開催報告	53
【企業による最新技術紹介 vol2 キヤノンメディカルシステムズ】	
ディープラーニングを活用したノイズ低減処理「Intelligent NR」の物理特性評価報告 ～ 一般撮影装置「RADREX」& X線デジタルラシオグラフィ「CXDI」システム ～ キヤノンメディカルシステムズ株式会社 九州支社 営業推進部	54
【議事録】	
公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 令和5年度第4回理事会 議事録（抄）	57
【会員のページ】	
第9回 ボウリング大会 & 懇親会 開催報告	64
若手技師による施設紹介（第2回） 鹿児島市立病院 七村 翼	66
会員アンケート結果発表 「コロナ禍が明けてから旅行行きましたか？」	68
会報表紙写真募集と会員アンケートのお願い	69
【行事・活動予定】	70
【理事・幹事名簿】	71
【編集後記】	72
【企業広告】	73
【総会資料】	
第103回公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 定時総会資料	81
議決権執行書または委任状はがき	巻末

表紙写真 : 「かごしま健康の森公園の蛸」
 撮影・写真提供：今村総合病院 恵 智徳 さん
 素敵な写真をありがとうございます

巻 頭 言

令和 6 年度にむけて

鹿児島県診療放射線技師会
財務理事 渡邊 義治

鹿児島県診療放射線技師会も平成 25 年から公益法人へ移行し、はや 12 年目の春を迎えました。

最近の景気動向としましては、コロナ禍からの脱却が進み経済・社会活動が徐々にこれまでの活動に戻りつつある中、世界の紛争をきっかけとした原油高、欧米諸国の物価指数上昇に伴う円安などを背景とした物価高騰、日銀のマイナス金利政策の終了にともなう住宅ローン問題の顕在化など、経済は緩やかに回復しているものの相対的な幸福度はいまだコロナ禍と近い状況が続いております。

一方、大手企業は先の春闘を経て、賃金の大幅なベースアップを達成しておりますが、その原資は内部留保が大部分を占めると言われており、今後の本格的な経済成長が待たれるところです。

私たち医療従事者の原資は診療報酬ですが、ご承知のとおり 6 月に医療・介護のダブル改定を迎えます。

先日発表された速報を見ますと、薬価減算の影響により全体の診療報酬は 0.12% のマイナス改定となりそうですが、医科においては 0.52% の上昇が期待されます。人工知能(AI) 技術を利用した読影診断等や業務の効率化に資する ICT 技術（医療 DX やイノベーションの推進等による質の高い医療情報の有効活用）等、昨今の技術革新に対しても診療報酬が算定できるようになりますが、我々診療放射線技師においては業務の質を向上させること、そして業務エリアを拡大させることにシフトすることで、診療放射線技師の必要性を広く認知いただくことが重要であると考えます。

今後、これまでに経験のない労働人口の減少が社会問題となることが明確となっておりますが、我々診療放射線技師にとってはその逆境をバネにして存在価値を高めていくことができるチャンスではないでしょうか。

告示研修によって拡大した業務は今後益々広がるタスク・シフト/シェアの入り口であると考えます。診療面における読影補助・STAT 画像報告の確立とその先への拡大、経営面における診療情報管理業務や医療情報管理体制の構築などが、現場レベルで AI に移行してきた時に、その担い手は診療放射線技師である我々でありたいと願うばかりです。

皆様のご理解も深まり、令和 5 年度末で鹿児島県の告示研修を修了されたかたは、50% を超えてまいりました。令和 6 年度にむけて、当会としましては 80% の修了を目標において、まだ受講されていない会員の皆様にご案内してまいりたいと思います。

第 103 回定時総会について

表記について、下記のとおり定時総会を開催します。

議題は令和 5 年度の事業報告及び決算報告、令和 6 年度の事業計画及び予算計画です。

会場と Web を用いた併用開催で実施します。尚、Web 参加をされる会員・欠席される会員については、本会定款 30 条による書面議決権の行使による議案の賛否を問う形で実施致します。

ご多忙と存じますが万障繰り合わせの上、ご出席または Web 配信の視聴くださいますようお願いいたします。

また、どうしても参加できない場合や Web 配信を視聴される場合でも、必ず議決権執行書または委任状を提出していただきますよう、お願い申し上げます。

日 時 : 令和 6 年 6 月 16 日 (日) 10:00~12:00 (受付: 9:30 から)

会 場 : 相良病院 11 階 はくあいホール (鹿児島市松原町 3-31)

Web 併用開催

議 題 : 令和 5 年度の事業報告及び決算報告

令和 5 年度の監査報告

令和 6 年度の事業計画及び予算計画

その他

*都合がつかずに欠席する場合や Web 配信の視聴される場合は、必ず同封のはがきを記載して投函してください。(6月7日必着)

※駐車場がありませんので近隣の有料駐車場をご利用ください。

県技師会より 500 円の補助をいたします。

【会場地図】



会場へのアクセス／

病院の駐車場は利用できません。会場周辺の駐車場のご利用いただくか、公共交通機関をご利用ください。

天文館から相良病院へのアクセス（徒歩約 8 分）

- ・天文館 G3 アーケード（旧タカプラ側）を入り、天文館むじゃきに向かって直進。
- ・アーケードを抜け、そのまま直進。あちもり、タイヨー銀座店前を通過し、さらにまっすぐ進む。
- ・NTT、松原の杜保育園、松原神社があり、その先が相良病院。

【ご視聴方法】

下記のミーティングリンクからアクセスしてください。すでにアプリをお持ちの方は、アプリを起動後にミーティング番号を入力して参加することもできます。



第 103 回定時総会・春季学術大会（共通）

2024 年 6 月 16 日 日曜日 10:30 から（テスト配信 10:00～）

<https://kagosimart.my.webex.com/kagosimart.my/j.php?MTID=m49543452844f7a46e8f7377fcbf3dc04>

ミーティング番号: 2511 221 8499

パスワード: KRT0616

【注意事項】

配信された動画、発表内容のスクリーンキャプチャ、動画記録、動画撮影などを禁じます。

他者に参加に必要な URL 等を共有することを禁じます。

その他、会運営および他の参加者の迷惑となる行為があったと運営側が判断した場合は、総会・春季学術大会の参加をご遠慮いただくことがあります。

【事前準備のお願い】

本講演会はテレビ会議システム「Webex」を使用します。

Webex を初めてご使用になる方は、お時間がありましたら事前に「Cisco Webex Meetings デスクトップアプリ 又は モバイルアプリ」を事前にダウンロードいただければ、当日はスムーズに開始できます。

こちらの URL よりご確認よろしくお願ひします。 <https://kagosimart.my.webex.com/>

以上

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会

第 103 回定時総会・特別講演・春季学術大会(ご案内)

謹啓

新緑の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本会の事業運営にご協力を賜り誠に有り難うございます。

さて、第 103 回公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会定時総会、特別講演、学術大会を開催致します。ご多忙とは思いますが、多数ご参加下さいますようお願いいたします。

謹 白

日 時 : 令和 6 年 6 月 16 日 (日) 10:00 ~ 16:00

場 所 : 社会医療法人 博愛会 相良病院 11 階 はくあいホール

スケジュール :

【 第 103 回 定 時 総 会 】 10:00 ~ 12:00

【 特 別 講 演 】 13:00 ~ 15:00

演題 : 「医師の働き方改革に伴うタスクシフト・シェアに関する
諸事情と医療職の将来の需給予測」

講演者 : 東京医療保健大学大学院看護学研究科教授 小野孝二先生

【 春 季 学 術 大 会 会 員 発 表 】 15:20 ~ 16:00 (先着順演題募集中)

※駐車場がありませんので近隣の有料駐車場をご利用ください。県技師会より 500 円の補助をいたします。

問合わせ先 公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会事務局

社会医療法人 博愛会相良病院 放射線技術部

総務担当 大迫 俊一

特別講演

「医師の働き方改革に伴うタスクシフト・シェア

に関する諸事情と医療職の将来の需給予測」

東京医療保健大学大学院看護学研究科教授 小野孝二先生

いま日本で取り沙汰されている2025年問題、2040年問題に示されるように、まさに日本は超高齢化社会を迎えようとしています。この人口構成の変化により、医療、介護、社会保障、インフラの維持が困難になるだけでなく、労働者人口の不足から経済が縮小するなど、社会を支える基盤そのものの劣化が指摘されています。この日本が直面している超高齢化社会の問題は、医療に携わる我々診療放射線技師にとっても主要なテーマであり、それに対する戦略の検討は重要な課題であると考えられます。

労働者不足が叫ばれるなか、診療放射線技師という職業は安泰であろうと安易に考えがちではありますが、日本の人口自体も急速に減少していきます。厚生労働省行政推進事業における研究によりますと、医療需要は各医療職ともに2030年頃までは増加するもののそれ以降は減少に転じ、15年後には供給過多の時代を迎えると推測しています。また、近い将来多くの仕事をAIとロボットが担っていくと予想されています。このように人口・社会構造の変化が見込まれる時代においては、タスク・シフト・シェアにて医師の働き方改革に貢献する体制をきちんと整えていく必要があります。

今回、東京医療保健大学大学院看護学研究科教授でいらっしゃいます小野孝二先生をお招きし、少子高齢化が進む日本において、医師の働き方改革に伴うタスクシフト・シェアによって私たち医療者の業務はどのように変わっていくのかについてお話をさせていただきます。小野先生は厚生労働省にて、この医師の働き方改革に伴うタスクシフト・シェアの検討に携わっていらっしゃる方でもありますので、今後の日本の医療、そして医療職、特に私たち診療放射線技師の需要と役割がどのように変わっていくのかなどについて、お話が聴けるものと期待しております。

この機会に、是非とも小野先生のお話を聴いていただき、今後私たち診療放射線技師が国民から必要とされる医療職となっていくためには何が必要なのかを学んでいただけたらと思いますので、多くの方のご参加をお願いいたします。

記

日時：令和6年6月16日（日） 13:00～15:00

会場：社会医療法人 博愛会 相良病院 11階 はくあいホール

令和6年度 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会
春季学術大会 会員研究発表 演題募集のお知らせ

新緑の候、会員の皆様方におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素より、鹿児島県診療放射線技師会活動へのご理解とご支援頂きまして有難うございます。

さて、令和5年6月16日（日）に、令和6年度 公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 春季学術大会を開催致します。つきましては、会員研究発表を下記要項で募集致します。是非、この機会に日頃の研究成果、日常の撮影技術の工夫点等を報告して頂ければと思います。

記

発表日時：令和6年6月16日（日） 15：20～16：00

会場：社会医療法人 博愛会 相良病院 11階 はくあいホール

発表要項：PCを利用した口述発表（WEB発表の場合有）

発表時間：発表7分、質疑：3分

演題締切日：令和6年6月9日（日）必着

申込方法：発表内容を【目的】、【方法】、【結果】、【結論】等の順に記載し、40字×10行（400字）以内で作成しメール添付又は、郵送して下さい。

メールアドレス：m.fuzisaki@nanpuh.or.jp

住所：〒892-8512 鹿児島市長田町14-3

鹿児島共済会南風病院 医療技術部 放射線技術科 藤崎 誠 宛

注) 演題申込された方には、受理メール又は電話を必ず申し上げます、演題を申込されて、受理の返事がない場合は、下記へお問い合わせ下さい。

問い合わせ先 TEL099(226)9111（南風病院）学術担当理事 藤崎 誠 まで

告示研修会（実技研修）開催（鹿児島）のお知らせ

新緑の候、会員の皆様方におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会活動へのご理解とご支援頂き誠に有難うございます。

さて、公益社団法人日本診療放射線技師会では、診療放射線技師法の改正に伴い、診療放射線技師の業務が拡大され、新たな業務実施にあたり安全かつ正確に実施するために、厚生労働大臣が指定する告示研修会(実技研修)を開催致します。つきましてはその委託を受けて公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会では、下記日程要項で令和6年度 第1回告示研修会(実技研修)を開催することとなりましたのでお知らせ致します。尚、今後の開催は、第2回を10月、第3回を12月に開催する予定です。

記

開催目的：業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得する

日時：令和6年8月11日（日）8：50～18：00

会場：鹿児島医療技術専門学校（平川キャンパス）多目的ホール（1号館5階）

鹿児島市平川町宇都口5417-1

受講資格：e-ラーニングによる告示研修（基礎研修）修了（合格）者

受講料：会員10,000円 非会員20,000円

受講者数：48名（注意：定員になり次第締切ます）

内容：DVDによる講義（視聴）及び医師、看護師による実習・演習

申込開始：6月21日（統一講習会修了者優先受付）

6月28日（左記以外の者受付）

申込締切：7月28日

申込方法：日本診療放射線技師会ホームページ（JART情報システム）より、お申込み下さい。

日程：

	時刻	時間(分)	事項
1	8:20 ～ 8:50	30	受付
2	8:50 ～ 9:00	10	開講式・オリエンテーション
3	9:00 ～ 10:15	75	動画視聴
4	10:15 ～ 10:25	10	休憩
5	10:25 ～ 12:30	125	動画視聴
6	12:30 ～ 13:20	50	休憩
7	13:20 ～ 17:50	4：30	実技研修
8	17:50 ～ 18:00	10	閉講式・解散

その他：

- ・会場の周辺にコンビニ等ありませんので、昼食は各自準備をして来てください
- ・入室は、スリッパを用意していますが、長時間の研修のため各自上履きの準備をお勧めします。
- ・申込は、満席でもキャンセルによりその都度、受付可能となる場合があります、申込締切日までホームページの確認をお願いします。

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 共催：公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会

問合せ：川内市医師会立市民病院 放射線課 0996 (23) 4418 藤崎まで

会計だより

公益社団法人
鹿児島県診療放射線技師会
財務 渡邊義治
木原悠太

令和6年度会費納入に関するお願い

本年も鹿児島県診療放射線技師会においては、日本診療放射線技師会費および鹿児島県会費・九州地域放射線技師会費の会費合算請求を行っております。
JARTより郵送される支払いに関する書面の手順をご確認のうえ、会費の納入をお願い致します。

尚、支払い期限の2024年9月30日(土)を過ぎますと、日本診療放射線技師会からの委託金も減額されてしまいますので、お早目の納入を重ねて宜しくお願い致します。

除籍者に対する未納会費（債権）回収について

JART 発刊の NetworkNow (2022/4) にて、すでにご存じの通り、債権の回収が始まっております。

鹿児島県におきましても、除籍者に対する未納会費回収を JART と行っております。今年度督促状が郵送された方の中には、会費の支払い忘れによる不本意な除籍となってしまう督促状が届いた方もいらっしゃると思います。

現在、会費の支払い方法は窓口支払いとクレジットカード支払いが選択できますので、クレジットカード支払いへの切り替えをご検討くださいますようお願い致します。

第556号  2022年4月1日 毎月1回1日発行 (7)

会費未納による除籍者から債権の回収委託を開始致します

すでに会誌に掲載しております通り、2021年10月2日開催の2021年度第3回理事会において、未収会費の収納代行委託に関する議案が可決され、日本診療放射線技師会会費については2022年4月1日付で会費未納による除籍者より債権の回収委託を開始致します。詳細は下記にお問い合わせください。

■ 本件に関するお問い合わせ：日本診療放射線技師会 財務担当 江端 清和 E-mail : info@jart.or.jp

INFORMATION

各種申請について

鹿児島県診療放射線技師会 HP 会員専用ページからの申請方法

組織担当 木場淳

1, 下記のアドレスまたは右の QR コードもしくは鹿児島県診療放射線技師会ホームページメニュー「会員サイト」からログイン画面を起動してください。

<https://krtbiz.kagoshima-rt.or.jp/>



2, 会員番号 と パスワード を入力しログイン

* ログイン用パスワードを忘れた場合は

鹿児島県診療放射線技師会ホームページのメニュー

「お問合せ」フォーム

から問い合わせてください。



3, 会員サイトにログインすると下に各種申請様式がありますのでお願い致します

会員情報の変更について

日本診療放射線技師会会員情報システム（JARTIS） での変更方法

組織担当 木場淳

平素より本会の活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。
新年度を迎え、住所、勤務先、連絡先が変更になる会員様が多くおられます。

会員情報が変更になられた際には JART 会員情報システム（JARTIS）から登録の変更をお願いします。 本会はこの情報を基に活動させていただいております。皆様のご協力をお願いいたします。

JARTIS ログイン → 「登録情報を確認・変更する」 → 「編集」もしくは“鉛筆”マークをクリック

（ログイン後の画面中段）

■会員情報

[病院等施設の名称や所在地を登録・変更する](#)
本システムでは病院等施設の名称や所在地を一元管理しております。開業に伴う新規登録、移転等による所在地変更、合併等による名称変更を連絡する場合は、こちらより承っております。
※手続きの詳細はこちらをご覧ください。

[都道府県技師会の転出・転入を申請する](#)
異動・転勤、勤務先の変更などで都道府県技師会の所属が変更になる場合は、こちらよりご申請いただく必要があります。
※手続きの詳細はこちらをご覧ください。

[各種カードの発行・再発行を申請する](#)
各種カードの発行・再発行を希望される場合は、こちらよりご申請いただけます。
・認定資格カードの発行
・会員カード、認定資格カードの再発行
※手続きの詳細はこちらをご覧ください。

[会費の免除を申請する](#)
以下の条件に該当する場合は会費の一部、もしくは全額が免除されます。
会費の免除申請を希望される方は、こちらよりご申請いただけます。
○休職のための会費免除申請
・長期療養、介護、海外勤務等により休職する場合
・出産・育児により休職する場合
○会費一部免除申請
・同居する親族に本会会員がいる場合
○大学院進学の会費減免申請
・大学院に進学した場合（在学期間に限る）
※手続きの詳細はこちら、会費等納入規約はこちらをご覧ください。
※都道府県技師会の会費は免除申請対象外です。
※令和6年度会費の免除申請の受付は1/31で締め切りました。2/1以降の申請は令和7年度会費の免除申請となります。

[ラダーの取得状況を確認する](#)
クリニカルラダー・マネジメントラダーのレベルやカウントなどの取得状況をご確認いただけます。

[登録情報を確認・変更する](#)
ご自身の登録情報(住所・勤務先・学位等)の確認と変更を行っていただけます。

[システム設定を変更する](#)
ログインパスワードの変更、Eメールアドレスの変更を行っていただけます。

※このページの「連絡先（会誌・書類等送付先）」が会誌の送付先となります。
送付先を変更される際は、こちらのプルダウンメニュー（自宅、勤務先）より選択してください。

鹿児島県診療放射線技師会

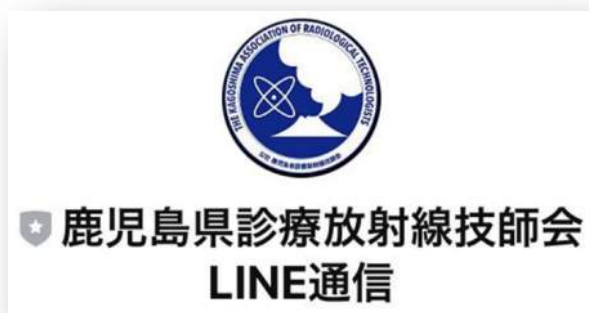
会員限定 LINE 登録のご案内

総務担当 大迫 俊一

.....

昨年の鹿児島県診療放射線技師会 ホームページをリニューアルに伴い会員限定でLINE 通信を始めました。LINE 通信を友達登録すると研究会の案内や JART からの新着情報をいち早く知ることができます。

是非この機会に登録をお願いします。



鹿児島県診療放射線技師会ホームページから会員専用のページへアクセスも合わせてお願いします。
今後はいろいろな情報を発信していく予定です。



能登半島地震 DMAT 派遣報告

社会医療法人緑泉会 米盛病院
伊藤 大助

2024 年 1 月 1 日に発生した石川県能登地方を震源とする地震に対応するために、厚生労働省 DMAT 事務局より派遣要請があった、鹿児島県 DMAT の一員として現地に派遣され活動したので報告する。

1 月 1 日地震発生直後、全国の DMAT 隊員は出動待機（全国で震度 6 弱以上の地震が発生した場合、自動待機することになっている）、石川県と DMAT 事務局からの派遣要請により石川県とその近隣県に所属する DMAT チームが活動を開始した。その後も派遣要請が継続し対象地域も広がっていったが、寒冷・降雪地帯という地域的な事情もあり、九州地方は派遣対象にならないのではないかとの情報もあったなか、1 月 13 日に第 6 次隊として九州各県へ派遣要請が発出された。地震発生から 10 日を過ぎ、超急性期から急性期へフェーズ移行し DMAT から JMAT や災害支援ナース・各保健所へ引継ぎが始まろうとする時期での派遣要請となり、被害の大きさや見通しの立たない状況、継続した支援の必要性を感じた。



(pic1) 公立穴水総合病院

1 月 13 日夕方に鹿児島県に派遣要請があり、鹿児島県 DMAT 調整本部が立ち上がって派遣について検討された。そして、鹿児島県先

遣隊（第 1 陣）として米盛病院 DMAT が派遣決定したとの連絡を受け、医師 1 名、看護師 2 名、業務調整員 2 名の 5 名でチーム編成し、各隊員に連絡して出動準備に取りかかるよう依頼した。業務調整員は私と理学療法士の 2 名だったが、彼は初めての実働派遣でありサポートしながら準備を始めた。車両は石川県への移動と現地活動を考慮してレンタカーではなく当院 DMAT カーを使用することにし、スタッドレスタイヤへの交換と移動経路を確認し、資器材バッグ、薬剤バッグ、乗船券の手配、隊員の食糧・飲料、寒さ対策などの資器材・物資をそろえた。



(pic2) 地震により崩落した道路

DMAT 事務局からの指示である「1 月 17 日没迄に到着すること」を達成する為に 16 日午後に病院を出発した。船舶と高速道路を利用して丸一日かけ移動、翌 17

日 15 時に穴水町保健医療福祉調整本部（穴水町保健センター）に到着、本部へ到着報告を済ませた。その日は夕方からの活動であったため、ミーティング参加と業務引継ぎのみで、翌朝から病院支援を担当することになった。

活動 2 日目の 18 日は、公立穴水総合病院の救急外来を大分県 DMAT と担当し、救急搬送されてくる患者の対応にあたった。近隣の福祉施設から膀胱瘻カテーテル交換の依頼があり、医師と私の 2 名で往診した。午後にウォークイン来院された患者が激しく腹痛を訴えており、CT 画像でフリーエアーを確認し消化管穿孔で緊急手術適応となった。しかし穴水総合病院では手術できず、悪天候の為ドクヘリ要請不可、自衛隊機は 3 時間待ちとのことで、指揮所・本部と協議し当院 DMAT カーで金沢医科大学病院へ救急搬送することになった。地震により道路状況が悪く、車両の揺れや渋滞もあり患者は痛みを訴え続けた中、約 80km の道のりを金沢医大病院救急医療センターまで緊急走行し、無事患者を引き継ぐことができた。



(pic3) 金沢医科大学病院到着時

活動最終日の 19 日も日勤帯で救急外来を担当したが、幸いにも重症患者がおらずスムーズな救急車受け入れ対応であった。夕方、後続第 2 陣である鹿児島市立病院 DMAT が到着したので申し送り実施、本部へ撤収報告・片付けを済ませ帰路についたが、18 時出発であったため滋賀県で一泊することにし、翌 20 日に約 900km を 13 時間かけて 21 時に米盛病院へ帰着した。

被災地での貴重な経験から活動を振り返えると、派遣決定後すぐにリーダーである医師からチームビルディングとブリーフィングがうまく実施され、早期に隊員 5 名の意識統一が図れたことで活動全般において効率よく役割分担できた。また、平時からの準備の大切さを再認識し、後方支援（所属施設・県 DMAT 調整本部）との情報共有・報告をより密にすべきと感じた。

今回の派遣に際し、ご尽力・ご協力いただいた行政・関係機関の皆様並びに、激励し快く送り出してくださった院内職員の皆さんに感謝申し上げます。

能登半島地震における DMAT 派遣報告

いまきいれ総合病院 中央放射線課 濱田 智太郎

2024年1月1日午後4時10分、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6、最大震度7という地震が発生し、1月18日に鹿児島県にもDMAT派遣要請がありました。最初に米盛病院DMATが派遣され、その後市立病院、鹿児島大学病院など続き、当院いまきいれ総合病院DMATは7次隊として出動し、活動期間は1月30日～31日の担当でした。私は鹿児島県ローカルDMAT隊員でしたので、当院の日本DMAT隊員の補助ということで現地に派遣されることとなりました。初めての実災害派遣で緊張と同時に知識や経験の浅い自分に何ができるだろうという不安がありましたが、とにかく自分の出来ることをしようと覚悟を決めました。

1月28日に志布志港からさんふらわあにて29日8時頃大阪に到着した後、陸路で穴水町を目指しました。滋賀県のあたりから雪景色になり、のと里山海道に入ると道が少しずつ悪くなり、七尾町からは道路も段差やひび割れが増え、運転するにも気を使うことが多くなりました。また、災害派遣の車両もたくさん来ており渋滞していたため8時間ほど要してしまいました。



穴水町に入ると被害も生々しく残っており、道路はとりあえず通ることができるようにしてありましたが、瓦礫などは1ヶ月経った今でもほとんど手付かずで残ってありました。また穴水総合病院自体も被災しており、駐車場はひび割れ、建物の基礎なども割れたまま壁などもヒビが入った状態でした。穴水本部には他県のDMAT以外にも自衛隊やJMAT DHEATなど様々なチームが入っており、これを取りまとめる本部の業務調整員の方々はどれほど大変かということを感じました。本部に到着を報告した後、そのまま夜間搬送業務で穴水総合病院に待機となり、待機中は本部の掃除や灯油の補充など依頼された業務は全て遂行しました。翌朝、施設に入居中の肩甲骨骨折の患者を金沢医科大学まで搬送業務をし、

その日は業務終了となりました。

翌日は穴水総合病院のER日勤業務の担当となりました。ロジスティ

クスの仕事としては、受付業務やライティングシートへの記入、患者搬送記録の作成、J-SPEEDの記録、連



本部清掃業務



夜間搬送業務待機中



搬送業務の様子



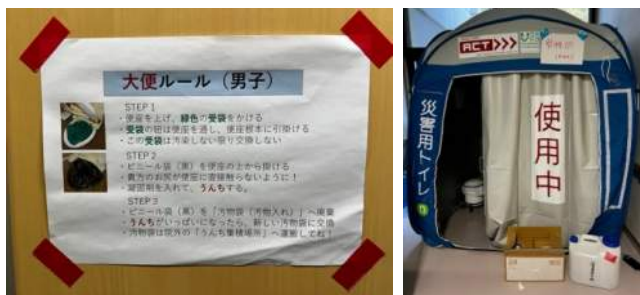
ER日勤業務



ER日勤時の昼食の様子

絡全般、診療日報の報告などでした。

私たちが担当した日から穴水総合病院では午前中外来診療が始まったこともあり、割とERは落ち着いていました。急性期から慢性期へと移行しつつあり、日常も少しですが取り戻しつつある印象でした。



しかしながら、断水は続いておりトイレや洗浄などに使う生活用水は雪解け水などを使っていました。電気は通っていたため灯りや暖をとることも可能でしたが、水が無いと何もできないという事を実感しました。特に飲料水は勿論、生活用水は本当に大切だ

ということを実感しました。この3日間でも水のない生活がとても大変だったのに、被災者はすでに1ヶ月もこの生活を続けているのかと思うと本当に辛い思いだなと感じました。また、トイレが億劫になり食事や水分を控えてしまう被災者の気持ちもとてもよくわかりました。ER日勤終了後は金沢に宿泊し、翌日帰路へつきました。

派遣された隊員以外に、病院に残った当院DMAT隊員もEMISや隊員LINEでの報告をもとにクロノロジーを作成して現場の動きを把握し、後方支援をしていただきました。また、活動の様子を職員掲示板に掲示してリアルタイムに他の職員に伝えることにより、派遣された隊員だけでなく、チーム全体として活動していることが職員にも伝えることができたと感じました。帰路の際、休憩で立ち寄ったサービスエリアには心温まるメッセージもあり、長距離運転の疲れもすぐに吹っ飛びました。

今回、この実災害派遣という貴重な経験をさせていただきました。この経験を活かし業務調整員として、また、診療放射線技師として自分に何ができるかということもこれからも考えていこうと思いました。



最後に、家族や職場の皆様方の協力なくしては約1週間もの派遣はできませんでした。この場を借りて感謝申し上げます。また、震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、そのご家族や被災された方々に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。



いまきいれ DMAT メンバー

令和5年度鹿児島県原子力防災訓練 参加報告

いまきいれ総合病院 林幸志郎

令和5年度鹿児島県原子力防災訓練が令和6年2月10日（土）に出水会場、長島会場、日置会場の三カ所で開催されました。私は日置会場の担当でした。日置会場（吹上中央公民館）での鹿児島県診療放射線技師会からの参加者は8名でした。

日置会場での私たちの主な仕事は、避難退域時検査（住民検査）でした。原子力災害に遭った地域からバスや自家用車で避難してこられた方々の汚染の有無をGMサーベイメータを用いて確認検査を行う役割でした。

会場に着いてから朝礼後、簡易ガウン、簡易防護帽子、サージカルマスク、防護手袋、ポケット線量計を装着し防護装備に着替えて会場の養生を行いました。

検査方法や検査箇所を資料で一通り読んで、待機しているとすぐに検査を必要とする住民の方が来られ、マスクミのカメラも押しかけて一気に緊張感が増しました。検査は三人一組になって行われます。一人は記録員で、二人は体の前面と後面を同時にサーベイする測定検査員です。サーベイメータのプローブを身体表面等から数cm離して検査を行います。サーベイする際、圧迫感があるので怖がられないように検査を行う際の声かけが大事だなと感じました。検査をしながら不安を与えないように優しく声かけをするには普段の業務から患者さんに対して心がけていくことの大切さを実感しました。

汚染があった際の簡易除染で汚染部位の拭き取りを行う際の声かけも「カレーを拭き取るような感じで」とか「優しくゆっくり手の外側から中心に向かって」など目に見えない放射性物質をイメージさせる説明力も大事だなと感じました。

昼過ぎに鹿児島県知事が視察に来られ現場を確認し嵐のように去って行きました。近くで初めて見る県知事は西郷どんの様でした。チェストー！！

訓練終了後の反省会で、分かりにくかった点や改善点を話し合い来年度以降の訓練に生かしていきたいとのことでした。

今回貴重な訓練に参加させていただきありがとうございました。より一層、今後のラジエーションライフを充実させていきたいです。

鹿児島県診療放射線技師会からの参加者 日置会場（吹上中央公民館）8名
本村克朗、大迫俊一、川西義浩、太田原美郎、宮元涼平、浮田啓一郎、松下芳正、林幸志郎



令和5年度鹿児島県原子力総合防災訓練 参加報告

出水総合医療センター 中野 孝二

2月10日に鹿児島県原子力総合防災訓練が北薩地域を中心として県内各地で実施されました。県技師会より当院から、出水会場に3名、長島会場に2名参加致しました。

放射線技師の役割としては基本、線量計を用いての汚染検査です。流れとしては、まず避難住民が乗った車両を汚染の有無で分け、汚染ありの想定車両に乗っていた避難者の代表者を「代表者検査」ということでまず検査し、汚染ありの場合さらに別のエリアで「確認検査」をし、他の同乗者も汚染ありという想定で「確認検査」を行い、汚染の有無により、汚染がなければそのまま、車両に戻ってもらい、汚染があれば「除染」エリアで除染をおこなうといった流れでした。

今回私が担当した「代表者検査」という役割は、4人一組で、チームリーダー、記録係、技師2名で構成され、避難車両に多数の避難者がいる中で1人の代表者といわれる人の検査をするというものでした。技師2人で代表者（被検者）の前後に立ち、前面にいる技師が顔面、手掌、手甲等を測定し、背後にいる技師が、頭頂部、後頭部、靴底等を測定し、結果を記録係、リーダーに報告するというものでした。

今回初めてこのような訓練に参加し、測定器を用いての汚染検査も経験することができ大変勉強になりました。本訓練では、あらかじめ汚染車両、汚染者、汚染部位等も決められ、汚染者が何人、汚染部位は手の甲などと周知されていましたので、初めての参加ではありましたが、混乱することなく行えたかと思いますが、いざ実際に災害が起こると、(起こらないことにこしたことはないが)不特定多数の住民が押し寄せ、少なからず混乱することは容易に想像できます。そのような事態にならないためにも、もっと多くの自治体関係者、保健所関係者、放射線技師等が参加できればいいのではないのでしょうか。訓練の最後に、各担当の責任者から問題点の指摘がいろいろありました。汚染なし避難者の誘導や各担当間での連携の不備など数点の改善点の指摘がありましたので、それらを精査し、次回の訓練に生かしてもらえればと思いました。



令和5年度鹿児島県原子力防災訓練 参加報告

出水総合医療センター 元村重吉

2月10日（土）に長島町（旧サンセット長島跡地広場）にて令和5年度鹿児島県原子力防災訓練（避難退域時検査実施訓練）が行われました。

旧サンセット長島跡地広場会場では、鹿児島県診療放射線技師会からの要請を受けた放射線技師の元村、平の2名が参加しました。原子力災害医療協力機関からも5名ほどの放射線技師が参加しており、それぞれの持ち場で検査員として訓練に参加していました。

私は検査員としての訓練は初めてでしたが、前もって1月26日の原子力防災訓練（避難退域時検査・簡易除染研修）に参加していたので全体の流れを知ることができたのが良かったです。

私の役割は代表者の検査員でした。訓練開始時の計測時には、緊張のあまりプローブの当て方に集中しすぎて計器に視線がいかなくなったり、逆に計器に気を取られ、プローブが体から離れすぎたりと計測に対する実践の難しさを感じました。外での計測作業では、強風により装着しているエプロンが汚染部に付着しそうになるのでそこでも計測作業の慎重さを感じました。

住民への声掛けでは、汚染した住民が不安にならないような声掛けを代表者のチームで相談して決めて、汚染ありの住民へは「反応がありましたので次の場所へご案内いたしますね。」と声掛けを行いました。今回の訓練場所では比較的小さい会場でしたが、受け入れる人数次第では大変だと感じました。この貴重な経験を今後の訓練にいかしていきたいと思えます





誌上講義

連載 第1回 (全3回)

あなたにもできる放射線被ばく相談 1

(有) 南州メディカル 川西義浩

◇ はじめに

毎日の撮影業務をしていく中で、患者さんから相談を受けることがあると思いますが、皆さんはどのような対応をされていますでしょうか？

次々にこなしていかなければならない撮影業務を考えると、長い時間を割いて患者さんの話を聞けるほど余裕は無いかと思います。

ではどうすれば良いか、その基本的なことについて話していきたいと思います。

◇ 私が放射線相談に関わることになった理由

まずこの話をする私が何者なのか簡単に自己紹介をして、私が放射線相談とどう関わってきたか話していきたいと思います。

私は高校卒業まで三重県で過ごし、名古屋の企業に就職、大阪支社へ転勤した後に陸上自衛隊に入隊しました。自衛隊では衛生科職種になったこともあり、准看護師と診療放射線技師免許を取得し、病院や医務室で勤務していたこともありました。

そんな私が心理系に関わるきっかけとなったのが、幹部自衛官になり東京にある衛生学校で惨事ストレスセミナーを受けたことです。このとき私は40代半ばでしたが、3ヶ月間缶詰になって講義を受け、カウンセリングの傾聴訓練や、学生同士での模擬講義を行う中でカウンセラーとしての能力を高めていきました。

この時に学んだことは一般のカウンセリングと少し異なり、軍事に携わっている場合のストレス対応が中心であったのですが、その後に遭遇する様々な問題対応に応用することができました。

このセミナーを修了後、部隊勤務をしながら、他部隊で起こった自殺や死亡事故後の隊員のメンタル対応も行いました。これは上級部隊から登録されたカウンセラーに依頼がきて、2泊3日でアンケート、カウンセリング、メンタルヘルス教育をセットにして行います。私が直接関わった人の中にはショックが大きいのしかかっている人も、逆に大きすぎて気づけずにいる人もいらっしゃいました。ショックが大きく表れている人には話を聞いていく中で、回復していく途中で起こっている正常な反応であること、時間が必要ですが必ず回復できるということを伝えました。またショックに気づけていない人には少し技法を使って感情を解放してもらい、自分の中にある感情に気づいてもらいました。中には筋肉隆々の男性隊員に号泣してもらったこともあります。

この時期に日本放射線カウンセリング学会に入会し、理事もさせていただきました。「放射線カウンセリング・ステップ ONE」や「医療被ばく－患者さんの不安にどう答えますか－」の執筆にも関わりました。

定年退職前に鹿児島に転勤になり、現在は介護用品レンタル会社で勤務しています。今年で鹿児島に来て13年目になります。昨年日本放射線カウンセリング学会の監事を退きましたが、引き続き南薩支部の世話人をさせていただいています。

長々と自己紹介をさせていただきましたが、ここから本題に入りたいと思います。

◇ 相談を受けやすい人の特徴

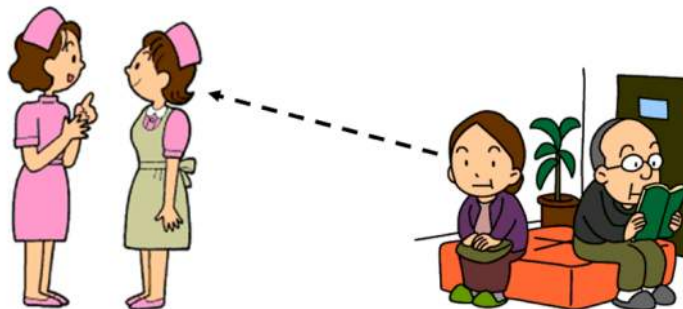
人の相談を受けるといっても、あなたの周囲には相談を受けやすい人とそうではない人がいるのではないのでしょうか。相談を受けやすい人は患者さんだけでなく、同僚からも相談されることが多いと思います。

両者にはどんな違いがあるのでしょうか。患者さんはどのような人に相談しているのでしょうか。

結論から言えば自分のストレスを和らげてくれそうな人に相談しているのです。

患者さんは検査や診察の合間に、医療従事者のことをしっかり見えています。他の患者さんへの対応や業務の取り組み方などを見て、この人はこんな人だろうと評価しているのです。

ですから患者さんはある程度、事前にこの人に相談すると決めているのです。相談を受けやすい人になるためには、日常業務をしっかりこなしながら患者さん一人一人に安心感を与えられる対応をしていくことが大切だと思います。



◇ ストレスについて

毎日の業務の中で様々なストレスを受けていると思うのですが、ではストレスとは何なのでしょう。

もともとストレスとは、物理学で使われている言葉で「歪み」を表します。ゴムまりを押しつぶすと、つぶす力がストレスになり、それを押し戻そうとする力がストレス反応になります。精神医学では、カナダの生理学者セリエが1936年に発表した「ストレス学説」により使われ始めました。実際のストレス反応を見てみると、例えば暑いというストレスがあると体は汗をかき体温を下げようとします。また寒ければ毛細血管を縮めて体温を下げないようにします。このように環境の変化に適応しようとする体の働きがストレス反応なのです。

この他にも図1にあるように様々なストレッサーがあります。

ストレス反応は、誰にでも起きる自然な反応であり、周囲の環境に適応しようとする生体の大切な機能です。

ある意味、ストレスのない世界はなく、ストレスの中で適応してきたからこそ、人類は進化してきたのだと思います。

しかし適度なストレスは人間を成長させても、過度なストレスは様々な歪みを生んでくるのです。このストレスに対する限度は個人ごと、またストレスの種類によっても違います。皆様も自分がどんなストレスに強く、そして弱いのかを知っておくといいかもしれません。

また人は常に1種類のストレスを受けているわけではありません。たいていの場合、少なくとも数種類のストレスを同時に受けています。一つ一つのストレスはそれほど大きくなくても、全体としてみると大きなストレスとなってしまうこともあります。例えば大学を卒業後に就職して、それに伴い転居したとします。さらに欲張って色んなことを一度に始めてしまうと体調を崩してしまうことがあるのです。

余談ですが、うつ病患者さんは初診で精神科へ行くことはほとんどなく、内科などの一般外来へ行くことが多いです。精神科の敷居が高いこともありますが、お腹の調子が悪くなったり頭や腰が痛いなど、心とは関係のない症状が出てくることが多いからです。

新しい環境になるからといって、多くのことを一度に始めると、ストレスが負担になってしまうこともあるのです。

(次号に続く)

ストレスの原因は？

- 心理的なもの
恐怖、価値観、困惑、不満など
- 身体的なもの
疲労、不眠、栄養不足、病気など
- 物理的なもの
騒音、気候条件、物資の不足など
- 薬物
アルコール、カフェインなど
- 社会的なもの
人間関係、仕事など

図1

執筆者 川西 義浩 技師のご略歴

昭和58年陸上自衛隊入隊。昭和62年准看護師免許取得、昭和63年4月～平成3年3月 自衛隊中央病院診療放射線技師養成所に入学し、診療放射線技師免許取得。長年陸上自衛隊の医療衛生分野や隊員のメンタルヘルス分野に奉職され、同時に技師会活動や原子力災害、放射線被ばく相談にも尽力。兵庫県放射線技師会原子力防災連携推進特別委員会技術部門班長、兵庫県放射線技師会組織委員、兵庫県放射線技師会放射線管理士部会副会長、日本放射線カウンセリング学会理事、日本放射線技師会放射線機器管理士部会理事、日本放射線カウンセリング学会監事等を歴任される。令和3年春に瑞宝双光章受章。著書に「放射線カウンセリング・ステップ ONE」「医療被ばく一患者さんの不安にどう答えますか？」がある。定年退職後は奥様の実家があるいちき串木野市に暮らし、南州メディカルに御勤務される傍ら、鹿児島県診療放射線技師会南薩支部の世話人（学術）として南薩支部の活動を支える。



連載 第一回

博士号への道（社会人修士編）

市來 守

公益財団法人慈愛会 今村総合病院 診療放射線部
広島大学大学院 医系科学研究科 総合健康科学専攻

業務お疲れ様です。総務理事の今村総合病院 市來と申します。

近年、臨床に携わる技師の方から「就職したけれど大学院に興味がある」という話や実習で来られた学生さんから「大学院に行きたい」という話をよく耳にします。

私自身も就職した頃から大学院に興味はあったのですが、なかなかきっかけや情報収集、それに伴う決断の仕方がわからなくて、気づけば40歳目前になっていました。

そのような中、縁があり昨年から社会人として大学院に通っています。これから社会人大学院を目指している方や、興味がある方の選択の一助になればと思い、今回から不定期に会誌に投稿させていただくことになりました。タイトルとしていただいた「博士号への道」はまだまだ遠いですが、まずは修士までのお話としてコラムを読んでいただけると幸いです。

何から書けばよいか悩んでいたのですが、「進学してよく質問される内容」を Q&A 形式で回答していきたいと思えます。

今回のコラムを読んで、他に聞きたい内容がありましたら、当方に直接連絡いただくか、県技師会の HP の問い合わせからご連絡ください。

Q. 「社会人修士を目指そうと思ったきっかけや、どういうルートがあるのか？学校選びはどの様にし、費用や期間はどれくらい掛かるのか？」

A. 順に回答させていただきます。

《きっかけ》

私は現在の病院で放射線治療部門に所属しており、その中でも治療計画に係る業務を中心に仕事を行っております。治療計画ガイドラインや Perez Book、Khan Book、がん放射線療法、各種疾患のガイドラインや文献を読んでいくうちに、「治療計画」という分野に非常に興味を持つようになりました。

国内で治療計画は、主に放射線治療医が行い、医学物理士、診療放射線技師が支援を担う分野ですが、米国では Medical Dosimetrist という職業があり、治療計画を専門で行う資格 (MDCB) があります。

この資格は、海外から受験することも可能ですが、「1000 時間以上の治療計画に関する研修」や「米国の腫瘍医もしくは米国の医学物理士からの指導」が条件として記載されています。これらの条件から日本国内で取得するのは難しいかと思っていたのですが、当院に非常勤で勤務されている物理士の先生が広島大学の特任准教授であり、米国の医学物理士の資格を持っていたため、大学院へ通うことでこの要件が満たせるかもしれないと思ったのがきっかけです。

また国内の医学物理士の受験資格が来年から修士必須になることもあり、院進学の必要性を感じたため進学を決断しました。

《進学ルート》

私の進学までの流れを大まかに記載します。正規なルート、決まりについては行きたい大学院によって異なると思いますので、参考程度に読んでいただくと幸いです。

- 2022 年 2 月 : 大学院進学に向けて準備を始める
特任准教授と Zoom 会議を週 1 回行う
- 2022 年 5 月 : TOEIC 初受験 (受験基準に届かず…)
- 2022 年 11 月 : TOEIC 再々受験 (受験基準ぎりぎりクリア)
- 2022 年 12 月 : 大学院の見学・願書提出
- 2023 年 2 月 : 大学院入試
- 2023 年 3 月 : 合格発表

上記の通り、私は英語が昔から苦手なので、TOEIC で苦戦しました。社会人の力(資金力)で教材の購入や TOEIC 対策アプリの会員になり勉強を行いました。

《学校の選択》

行きたい学校については、コロナ禍の影響もあり対面授業以外にリモート授業を取り入れている大学も多くありますので、全国から自分の学びたい研究をしている学校を選択して授業形式の確認をするのも 1 案かと思います。

広島大学大学院では、遠隔地申請と社会人申請を行うことで、多くの科目をリモートもしくはオンデマンド配信で受講することができます。修士 1 年目で修論を除く 30 単位中の 28 単位を取得したのですが、広島へ対面授業で行った回数は、年間 10 回程度(集中講義・大学院生発表会を含む)でした。

《費用について》

費用については、各大学院で異なりますので、行きたい学校の費用を HP 等で確認していただければと思います。

私の場合、学費が 1 年間約 50 万円×2 年分、入学金が約 30 万円でしたので、修士取得に約 130 万円かかりました。この費用を捻出することが進学が一番のネックで

したが、社会人ならではの金銭の工面の仕方もあります。

それは、所属している施設の支援制度を利用することです。当施設の場合、「長期研修奨学金制度」を行っており、医学物理士の取得を目的とした長期研修として、施設から奨学金を借りることができました。無事に卒業できれば少しずつ返済していきたいと思います。

《期間について》

期間についてですが、学部卒の大学院生の場合、修士2年で卒業する方が多いですが、社会人卒の場合、長期履修制度を取り入れている学校も多いので3年間で学ぶこともできます。仕事をしながら学ぶことになるので、自分自身のライフスタイルに合わせて選択することをお勧めします。

私の場合、入学前から修士論文の題材を決めて研究を進めていたので、単位を取れば2年で卒業できそうだなと安易な考えて2年を選択しましたが、研究が思うように進まず、3年にしておけばよかったかなと後悔しています。

●謝辞

このような機会を与えていただいた鹿児島県診療放射線技師会の理事・会員の皆様と、大学院進学をサポートいただいている今村総合病院 診療放射線部の皆様に厚く御礼申し上げます。ご拝読いただきありがとうございます。

令和5年度 第4回 告示研修会開催報告

(公社) 鹿児島県診療放射線技師会 担当理事 藤崎拓郎

診療放射線技師法の改正に伴い厚生労働大臣が指定する、令和5年度最終の第4回 告示研修会（実技研修）が鹿児島医療技術専門学校（平川キャンパス）多目的ホール（1号館5階）にて、1月21日（日）開催されましたので報告致します。

今回は、講師として、米盛病院放射線科の医師 佐藤昌之先生に、静脈路講師として、いづろ今村病院の看護師 新町夏来先生に指導してもらいました。その他、ファシリテータとして、いまきいれ総合病院の池田真一、米盛病院の福留慎也、いづろ今村病院の脇田慎一、鹿児島市医師会病院の木場淳、スタッフとして鹿児島医療技術専門学校の東幸浩、南風病院の藤崎誠、会場責任者として藤崎拓郎がお世話しました。

当日は、朝9時から午前中は実技のための動画視聴、昼をはさんで午後は18時まで、まる一日実技研修がありました。受講者数は、会員22名、非会員6名の計28名とこれまでで最も少ない受講者数となりました。

鹿児島県開催 告示研修 受講者数

回数	年度	開催日	会員	非会員	計
1	令和3年度	2022年3月6日	39	0	39
2	令和4年度	2022年7月31日	40	2	42
3		2022年11月23日	42	4	46
4		2023年1月22日	42	4	46
5	令和5年度	2023年2月19日	41	5	46
6		2023年7月9日	38	8	46
7		2023年9月17日	30	7	37
8	令和5年度	2023年12月3日	25	13	38
9		2024年1月21日	22	6	28
計			319	49	368

これまで開催された告示研修会の受講数を掲示します。現在まで、368名の方が受講されています。他県で受講されている方もいらっしゃるのでは若干増えるとは思いますが、おおよそ半数の方が免許更新されたと思われます。令和7年には、履修した学生が卒業しますので、本事業の縮小化が決まっています。

今年度は、告示研修会の第1回を8月11日、第2回を10月、第3回を1月に、統一講習会を11

月に予定しています。免許の二分化を避けるためにも、是非、早めの受講をご検討ください。

【研修風景】



第 57 回鹿児島 CT 研究会 開催報告

鹿児島 CT 研究会 代表世話人 大井病院 愛下 剛

第57回鹿児島 CT 研究会を 2024 年 1月 24日(水)18:30~20:30 Web にて開催致しました。事前参加登録は138名(県外から11名)当日参加者は会員 102名、県外からの参加もありました。当日は司会・と情報提供・施設発表の座長を大井病院 愛下が務め、特別講演の座長は、鹿児島大学病院 林 会員に務めていただきました。

FFR_{CT}情報提供として

”冠動脈CTを用いた新しい虚血診断について(FFR_{CT})”

HeartFlow Japan 上村 将行(ウヰムラ マサキ)様より報告していただきました。

県内でのFFR_{CT}の導入の一助となる情報提供となりました。



引き続き 今回のテーマである”心臓領域”のセッションでは県内の心臓領域でご活躍されている3施設より使用経験について報告していただきました。

当院の冠動脈CTについて
TBT注入法を用いて

川内市医師会立市民病院 放射線課 沖中裕幸

【～心臓領域～施設発表】

『TBT 注入法を中心に』 川内市医師会立市民病院 沖中 裕幸会員

『TAVI 術前検査を中心に』 鹿児島医療センター 岩元 優樹会員

『心臓遅延造影を中心に』 県立北薩病院 安永 勇太会員

の3名の方々による貴重な画像、並びに有益な情報を提供していただきました。



【特別講演】では

『心臓 CT で わかること』 と題しまして東京よりウェブを通して

みなみ野循環器病院 放射線技術部長
望月 純二 先生



特別講演 望月先生

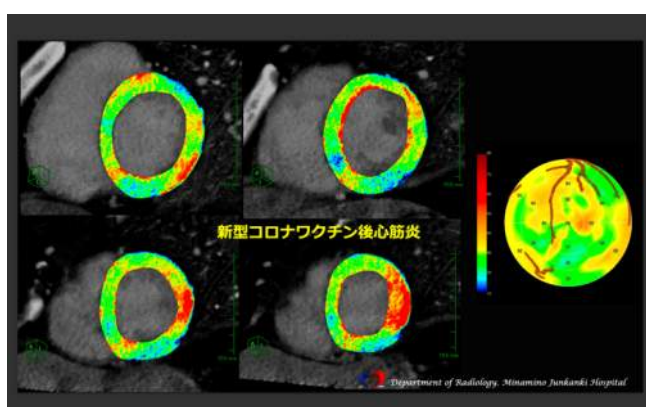
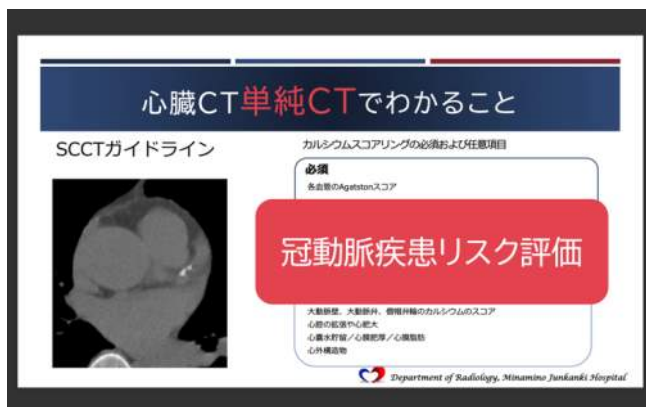
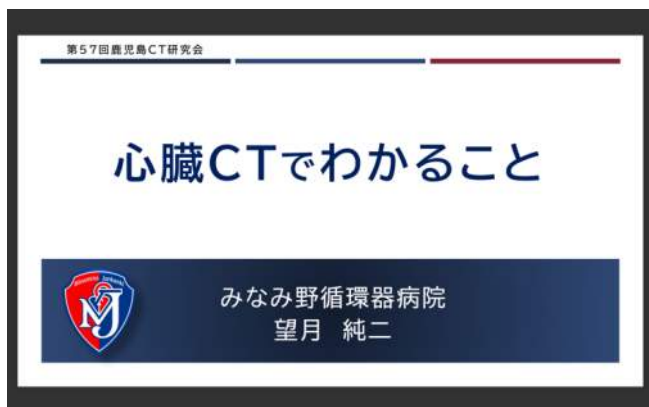


座長：林会員

を迎えて、初学者から上級者に向けて、鹿児島で心臓 CT に従事する技師に向けて貴重な講演をしていただきました。発表・講演を控えている中で、鹿児島 CT 研究会の為に、スライドを作成いただき大変光栄に思いました。今後、鹿児島現地での講演が行えるようにお迎えできる日が来ることを約束して講演を終えていただきました。

望月 純二先生より

『鹿児島県の技師の方々の熱さが伝わりました。そして鹿児島での心臓CTの解析等が少しでも増えることを願います』と、鹿児島県の心臓CTの【熱さ】を伝えることができた事は世話人一同非常に嬉しい限りです。



望月先生のご厚意により スライド一部抜粋

今後も県内の技師の活躍、ウェブ（ハイブリッドも検討）を活用した県外からの講演を企画致します。また、今年度限りで“宮原 洋一@鹿児島市立病院”“二間瀬 竜太@いづろ今村病院”に両名が世話人の期間終了となります。ご尽力していただきありがとうございます。

来年度も新たな世話人を迎えて今年度以上に会員の興味を持っていただける企画を開催します。今後の“鹿児島CT研究会”への参加をよろしくお願い申し上げます。

- 世話人：(代表) 愛下 剛 大井病院
- 岩元 優樹 鹿児島医療センター
 - 沖中 裕幸 川内市医師会立市民病院
 - 木村 圭佑 南風病院
 - 坂口 右己 霧島市医師会医療センター
 - 濱田 智太郎 いまきいれ総合病院
 - 林 六計 鹿児島大学病院
 - 福留 慎也 米盛病院
 - 二間瀬 竜太 いづろ今村病院
 - 穂山 和章 鹿児島厚生連病院
 - 宮原 洋一 鹿児島市立病院

第57回 鹿児島CT研究会

【開会挨拶】 18:30-18:35

【FFR CT 情報提供】 18:35-18:45
冠動脈 CT を用いた新しい虚血診断について (FFRCT)
HeartFlow Japan 上村 将行

【〜心臓領域〜施設発表】 18:45-19:30

- 『TBT 注入法を中心に』 沖中 裕幸@川内市医師会立市民病院
- 『TAVI 術前検査を中心に』 岩元 優樹@鹿児島医療センター
- 『心臓造影検査を中心に』 安永 勇太@県立北薩病院

【特別講演】 19:30-20:25
鹿児島 林 六計@鹿児島大学病院
『心臓 CT でわかること』
みなみ野循環器病院 放射線技術部長
望月 純二 先生

【閉会挨拶】 20:25-20:30 鹿児島CT研究会 代表世話人 愛下 剛@大井病院

令和5年度 鹿児島県放射線機器管理士部会研修会（開催報告）

放射線機器管理士部会 部会長 藤崎拓郎

令和5年度の鹿児島県放射線機器管理士部会研修会が下記の日程・内容にて開催されましたので、報告致します。

令和5年度 鹿児島県放射線機器管理士部会研修会 開催案内

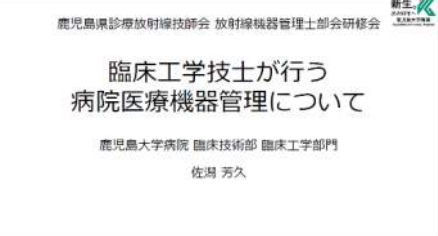


【研修日時】令和5年11月28日(木)
 時間 10時～15時
 会場 鹿児島県立市民病院 研修室
 参加費 参加費無料(研修費500円) ※研修費は研修参加者へ別途請求書にて請求させていただきます。
 申込 申込書(別添)に必要事項を記入の上、お申し込みください。
 申込先 鹿児島県放射線機器管理士部会 事務局
 〒900-0001 鹿児島市中央1-1-1 鹿児島県庁5階505号室
 TEL 099-278-2111 FAX 099-278-2112
 E-MAIL kagoshima@kagoshima-rt.com
 URL https://www.kagoshima-rt.com/kyosei/kyosei2023.html

【研修内容】
 ① 特別講演 『臨床工学技士が行う病院医療機器管理について』
 鹿児島大学病院 臨床技術部 臨床工学部門 佐潟 芳久 先生
 ② 特別講演 『法制化された医療機器管理のその後～各施設の管理状況～』
 川内市医師会立市民病院 放射線技術部 藤崎 拓郎 先生
 ③ 特別講演 『法制化された医療機器管理のその後～各施設の管理状況～』
 霧島市立医療センター 放射線技術部 中野 武志 先生
 ④ 特別講演 『法制化された医療機器管理のその後～各施設の管理状況～』
 鹿児島市立病院 放射線技術部 木原 悠太 先生

今回は、特別講演を演題名『臨床工学技士が行う病院医療機器管理について』と題して、病院の医療機器管理のプロである臨床工学士として、実際にどのように管理を行っているかを鹿児島で唯一の特定機能病院でもあり、最も医療機器管理が進んでいる鹿児島大学病院の佐潟 芳久先生にご講演頂き、医療機器管理のスペシャリストである臨床工学士さんの医療機器管理のノウハウを聞くことにより、今後の放射線医療機器管理について参考になる点があるのではと考え企画しました。また、テーマ討論は、座長を鹿児島大学病院の西郷康正技師長にお願いして、『法制化された医療機器管理のその後～各施設の管理状況～』と題し、川内市医師会立市民病院の藤崎拓郎、南風病院の中原武志さん、今村総合病院の恵智徳さん、霧島市立医療センターの佐々木崇さん、鹿児島市立病院の木原悠太さんの5施設に各施設の現状を発表して頂きました。医療機器管理がどこまでなされているかを知ることにより、自施設の今後の医療機器管理の指標にして頂けたらと思ひ企画しました。

鹿児島大学病院の佐潟 芳久先生のご講演では、鹿児島大学病院における病院全体の医療機器の管理方法はもちろん、医療機器に関する医療安全の取組み、医療機器管理システムの紹介、臨床工学士さんの業務や院外活動の紹介、九州厚生局の立入検査における指摘事項まで、分かり



臨床工学技士が行う病院医療機器管理について
 鹿児島大学病院 臨床技術部 臨床工学部門
 佐潟 芳久



臨床工学部門 CE: 24名
 事務職員: 1名
 24病院365日体制で臨床工学技士による医療安全管理に貢献

その中で、病棟で使用する多数のポンプなど、管理システムによる一元管理や臨床工学士による点検が可能など、我々の医療機器管理とは少し異なる管理をしている事が分かりました。共通点として、新しい医療機器の導入時の研修など、その研修方法、記録項目、受講率100%への工夫、医療機器安全管理委員会の活動内容など大変参考となる点も多数あり、今後、我々が放射線医療機器管理する上で有意義な情報を得られました。

易く丁寧に講演頂きました。



各施設の医療機器管理の状況報告では、医療機器管理システムの活用をME 機器管理システムと一緒に運用している施設も有り、予算獲得の面で有利であると思われた。医療機器安全管理者は、1施設が診療放射線技師となっていた。どの施設も医療監視時に聞かれる項目は、CT、MRI 装置の保守点検状況、研修状況であり、特に指摘される事項は無かったとの報告であった。また、医療機器安全管理委員会などの立ち上げのない施設もあり、是非、診療放射線技師として放射線医療機器の安全管理に積極的に参画することを希望したい。以下に今回発表して頂いた各施設の放射線医療機器管理状況をまとめました。聴き取り間違いが有るかも知れませんが、詳細は、各講師へお問合せください。

	南風病院	今村総合病院	霧市立医師会医療センター	鹿児島市立病院	川内市医師会立市民病院
医療機器安全管理料の取得の有無	有	有	有	有	有
医療機器安全管理責任者の職種	臨床工学士	臨床工学士	臨床工学士	医師	診療放射線技師
放射線医療機器管理ソフト使用の有無	有	有	有	有	有
ME機器管理ソフトと同じか	別	別	同システム内	別	別(同メーカーがシステムは別)
使用している管理ソフトの紹介	ShadeQuest/RIS	CEIA System	ZERO ME	3mec	3mec
	富士医療ソリューションズ システム課で自作	アルカディア・システムズ 事務部(財務)と連携	ZERO システム 機能はあるが活用していない	メディカルクリエイト 全ての医療機器を管理	メディカルクリエイト 全ての医療機器を管理
始業点検実施者の勤務体系等	部署によっては早出対応	早出対応	担当部署対応	不明	早出対応
医療機器安全管理委員会の有無	無(放射線技術科内に有)	無(セーフティマネジメント委員会)	不明	有	有
保守点検実施医療機器	CT,MRI,X線装置,マンモ,RI,PET	CT,MRI,X線透視装置,放射線治療装置,Angio装置,RI	CT,MRI,一般撮影装置,,ポータブル,X線透視装置,放射線治療装置,Angio装置,超音波装置	CT,MRI,一般撮影装置,X線透視装置,Angio装置	CT,MRI,一般撮影装置,X線透視装置,Angio装置
医療機器の導入時の研修状況(記録・未受講者への対応等)	説明記録書の保管	医療安全研修としてYou Tube活用	システムへ記録は保存	システムへ記録、説明書も保存	システムへ記録、説明書も保存
	未受講者の把握、説明を受けた技師が他の技師へ説明	未受講者の把握・周知	システムへ記録は保存しているが、ファイル等は別保存	未受講者の把握・周知	未受講者の把握(理由まで)・100%になるまで方策
不具合情報等の取得方法及び対応	メーカーからの情報 メールで周知	主にメーカーからの情報(PMDA,病院機能評価機構は参照程度)	主にメーカーからの情報	メーカー,PMDA,病院機能評価機構からの情報収集とシステム内での共有	メーカー,PMDA,病院機能評価機構からの情報収集と回覧にて周知,重要事項はHIS上に掲示
医療監視時の質問事項等	主に臨床工学士が対応	臨床工学士が対応	臨床工学士が対応	不明	診療放射線技師が対応
	添付文書の管理,研修記録,機器管理台帳,各種マニュアルを監査	研修会などの受講率、その後の対応の記載のアドバイス	定期メンテナンス計画書作成指導有	不明	医療機器安全管理責任者の配置,保守点検管理,安全管理研修状況,MRI検査の安全管理状況,安全管理研修の未受講者への対応の監査

以上

【参加者氏名】

藤崎拓郎、副島恭平、佐藤直彦、川西義浩、愛下剛、川田勝義、舟田悟、三園幸一、西憲文、菌田大樹、井上史央里、坂本幸望、山中仁、大迫秀旗、佐々木崇、坂口右己、市園淳二、蓑田辰則、中原武志、大藪建、西謙一郎、大迫俊一、西元辰也、恵智徳、大坪美紀、佐々木一将、林幸志郎、木原悠太、堀之内勇作、西郷康正、塩屋晋吾、新村栄次

鹿児島消化器画像・超音波研究会 合同開催報告

(第74回鹿児島消化器画像研究会 第24回鹿児島超音波研究会)

鹿児島消化器画像研究会 上川 智弘

令和6年2月7日(水)、18:30~20:00、WEB開催にて鹿児島消化器画像研究会と鹿児島超音波研究会を合同開催し、74名の参加がありました。

第1部 超音波プログラムでは、3つの演題が発表されました。

①「肝の腫瘍性病変～エコーで見る MRI で見る～」と題し、いまきいれ総合病院の浮田技師に発表をして頂きました。腹部エコーは質的診断ができることもあり、非常に面白い領域と答えつつも、とられすぎるのも危険で、危険性を踏まえた上で行うことが大切だと話していました。



肝の腫瘍性病変 ～エコーで見るMRIで見る～

いまきいれ総合病院
中央放射線課
浮田啓一郎

プログラム1 (超音波) 一部抜粋

②「症例から学ぶ」と題し、鹿児島厚生連病院の楠本技師より、脂肪肝を背景としたエコーで鑑別が困難であった肝腫瘍の2症例を提示して頂きました。脂肪肝があり、低脂肪領域内に腫瘍像があるという珍しい症例でした。



脂肪肝を背景とした肝腫瘍の2症例

鹿児島厚生連病院 楠本 亮太

プログラム1 (超音波) 一部抜粋

③引き続き、「症例から学ぶ」と題し、いづろ今村病院の上釜技師より、膵臓の脂肪浸潤とされていた所見を短軸像で見ると腫瘍様に描出されたという症例でした。精査ができていないということもあり、そもそも膵臓の脂肪浸潤が何故起こるのかをお話し頂きました。



症例から学ぶ

第24回 鹿児島超音波研究会
2024年2月7日

公益財団法人慈愛会いづろ今村病院 上釜 健作

プログラム1 (超音波) 一部抜粋

第2部 消化管X線プログラムでも、3つの演題が発表されました。

①「胃X線ビギナー 所見用語のまとめ」と題し、南風病院の山下技師より、臨床でのX線画像や内視鏡画像・標本画像を提示して頂き、「面の所見」の特にはじき像・透亮像について発表をして頂きました。



プログラム2 (消化管X線) 一部抜粋

②「症例から学ぶ」と題し、鹿児島厚生連病院の萩原技師より、胃がんリスク検診でC判定となり、胃X線精密検査を行った症例発表でした。胃角部大弯にあるIIa+IIc様の病変で、結果は深達度SMの進行癌でした。



プログラム2 (消化管X線) 一部抜粋

③引き続き、「症例から学ぶ」と題し、南風病院の日高技師より、心窩部痛・黒色便を症状とした小腸造影の症例を発表頂きました。結果は、「メッケル憩室内翻」という非常に珍しい症例でした。丹念な圧迫による粘膜の状態を観察することが鑑別するポイントとのことでした。



プログラム2 (消化管X線) 一部抜粋

2024年度もWEBでの開催を予定しております。日程は技師会HP等にてご案内いたしますので、次回も、会員、非会員問わず多くの方の参加をお待ちしております。

令和5年度 鹿児島県診療放射線技師会 霧島始良地域研修会 開催報告

霧島始良地域理事 坂口 右己

令和6年2月10日(土)にWEB(Cisco Webex)と国分生協病院現地でのハイブリッドにて開催致しました。当地域でのハイブリッド開催は初の試みとなりました。参加総数はWEB参加46名・現地参加25名、(会員70名・非会員1名)の71名でした。多数のご参加、誠にありがとうございました。会は、太田原会長(R5年度原子力防災訓練参加)代理として、大迫俊一 副会長による挨拶での幕開けとなりました。



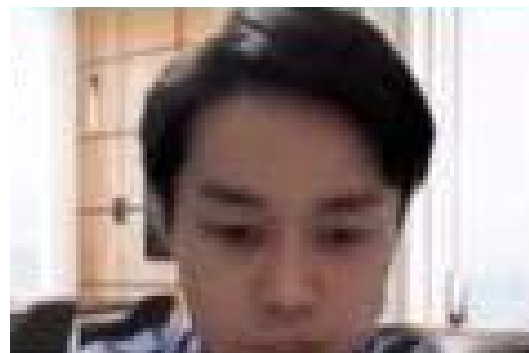
大迫俊一副会長

会の内容としましては、施設発表が当地域会員による常日頃の努力や研究の成果を生かした5演題、貴重症例を交えた初心者にも分かりやすい塩屋様による超音波ミニレクチャー、そして特別講演には株式会社日立製作所 日立総合病院 放射線技術科の 岡 裕之先生をお招きして『CT 画像の押さえどころ』について、基本的な考え方から画像を読み解くコツなど貴重症例を交え非常に分かりやすく講演して頂きました。

【施設発表】

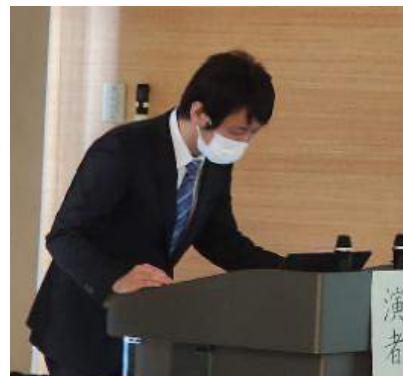
1.放射線科も SDGs - 節電で 100 万円節約-

青雲会青雲病院 中村空也



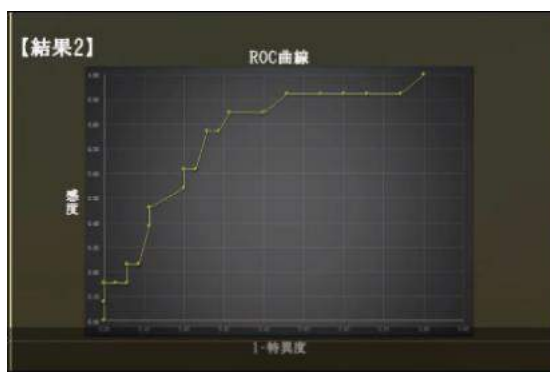
2. 中学野球投手における肘内側部への外反ストレスの強さと列隙距離との関係性について

霧島整形外科 北園卓也 様



3. Agaston Score を用いた大動脈弁狭窄症の評価

国分生協病院 猿渡悠樹 様



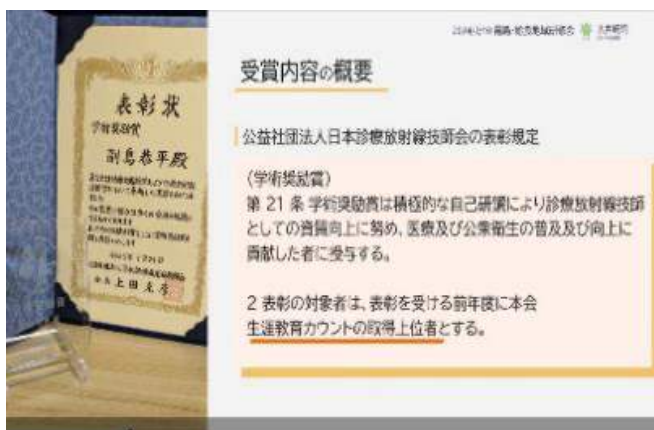
4. 肺がん CT 検診認定技師取得までの道のり

霧島市立医師会医療センター 松元祐樹 様



5. 学術奨励賞受賞報告

七徳会大井病院 副島恭平 様



【ミニレクチャー】

『臨床に活かすエコー！ ～ 他モダリティよりここが優れている～』

座長 US パートナー 平賀 真雄 様

演者 霧島市立医師会医療センター 塩屋 晋吾 様



平賀 真雄 様

塩屋 晋吾様



『STAT (緊急) 画像報告だけでいいの？ CT 画像での押さえどころ』

座長 七徳会大井病院 愛下剛 様

演者 株式会社 日立製作所 日立総合病院 放射線技術科 岡裕之 先生



岡 裕之 先生

会前半に音声トラブルなどあり、発表者の先生方はじめ視聴者、来場者の方々にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。ハイブリッド開催に多少の課題は残りましたが、全体的に見ると内容も非常に充実した研修会だったのではと思います。会場を提供して頂いた国分生協病院様、技師会副会長の大迫様や当地域世話人の方々その他お手伝い頂いたスタッフの皆様には感謝申し上げます。

次年度も引き続き研修会を開催しますので多数の参加お待ちしております。



活発な討論の様子



国分生協病院 会場

令和5年度大島地域研修会開催報告

大島地域 学術担当：富永 有樹

令和6年2月17日、令和5年度大島地域研修会を名瀬徳洲会病院（現地開催のみ）にて開催しました。参加人数は14名（すべて会員のみ）。

話題提供ではSiemens Healthineers、キャノンメディカルシステムズから、CTにおける最新トピックスの講演があった。

- Siemens Healthineers

世界初のフォトンカウンティングCT NEOTOM Alpha の講演がありました。被ばく量の大幅な低減、ノイズレスのCT画像、通常撮影でのDual Energy法が行えるため、冠動脈CTで石灰化の除去、肺塞栓診断のヨードマップ作製、低管電圧を用いてCT値を上昇させることで造影量低減ができ、可能性は無限大に広がるということであった。

- キャノンメディカルシステムズ

最新機種のアquilion ONEとDeep Learningについて講演がありました。PIQEの処理で冠動脈CTの内腔評価が劇的に向上しました。さらに低電圧+小焦点撮影も行えるようになり、撮影の幅も広がり今後の使用報告が楽しみです。

会員発表として、県立大島病院の吉福技師に大島地域における輸血体制の現状、本土と比較し血液供給までに大幅に時間を有すること、血液が不足する時は院内血を用いて対応していることなどを発表していただいた。島内の血液備蓄所の復活も期待しています。

名瀬徳洲会病院の中田技師に既読管理システムの運用例を報告していただいた。徳洲会グループ全体では、重要所見の見逃しを取り組んでいて、希望施設には導入をしています。

教育講演として、大隅鹿屋病院の小林医師からAIソフトウェア導入経験としてご講演いただいた。

当院もAIを導入しており、徳洲会グループ全体でも小林先生主導で導入を勧めており、当院も胸部XPと胸部CTを導入済みで読影の先生の負担低減になっています。

今後も、大島地域会員のスキルアップ向上を目指した研修会を開催したいと思います。参加された技師会員のみなさんご多忙にもかかわらずご出席いただき、ありがとうございました。

報告 令和5年度「第43回南薩地域研修会」開催報告

南薩地域理事 木佐貫 克朗（加世田病院）

令和6年2月24日（土）第43回南薩地域研修会を鹿児島X線撮影研究会との合同で開催いたしましたので報告いたします。

開催日 令和6年2月24日（土）
時間 15時～18時45分
会場 前原総合医療病院 2F 大会議室（日置市伊集院町妙円寺1丁目1-6）

【内 容】

1. 会員発表 15時10分～ 座長：川西 義浩（南州メディカル）
 - ①「CT検査時の造影剤血管外漏出予防の取り組み」 馬場病院 長野 勝悟 技師
 - ②「当院における整形エコーの導入」 今林整形外科病院 福留 三朗 技師
2. メーカー講演 15時35分～ 座長：川西 義浩（南州メディカル）
 - ①「透視機能付き一般撮影装置 beyond のご紹介」 富士フィルム 前田 道利 様
 - ②「単純X線検査において動画撮影の実現 Dynamic Digital Radiography」
コニカミノルタ 柴田 敏宏 様
3. 鹿児島X線撮影研究会 16時40分～ 座長/野中 康博（菊野病院）
 - ①座学「明日から使える膝関節撮影のすべて」 今村総合病院 馬場 隆行 先生
 - ②ハンズオン「膝関節撮影～ローゼンバーグ法まで～」
今村総合病院 馬場 隆行 先生

【総 括】

令和2年2月 第40回南薩地域研修会（CT研究会との合同開催）が新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止になってから早や3年、南薩地域研修会の

「飲んで（懇親会まで出ましょう！）、歌って（マイクを握り発表しよう！）、踊れる（スポーツを楽しもう！）」

のモットー通りに、懇親会まで開催実現できました。

5類感染症移行となった昨年は、県立薩南病院（南さつま市）にて秋季学術大会を兼ねた南薩地域研修会を開催しました。

対面開催の機会も増えたことで、今回は鹿児島X線撮影研究会の合同開催を企画させていただき、会場は初めての使用となります日置市の前原総合医療病院、対面およびWEBとのハイブリッド開催となりました。

合同開催では、鹿児島X線撮影研究会代表・馬場隆行様による座学「明日から使える膝関節撮影のすべて」、ハンズオンでは「膝関節撮影～ローゼンバーグ法まで～」を熱くご講演いただきました。

研究会の人気講座であるハンズオンでは、初の試みとして一般撮影室からの配信によりWEB参加の方々にも視聴していただきました。

事業報告として、次回第44回研修会を9月28日（土）県立薩南病院での開催を予定していることを伝えました。

多くの方々の参加を期待しています。

【出席者】※五十音順

会員番号	氏名	所属	会員番号	氏名	所属
50567	愛下 剛	大井病院	99999	濱 利晴	フジフィルムヘルスケア(株)
76765	池田 精樹	小原病院	78396	東 大将	小原病院
69844	石原 広大	若松記念病院	38968	平 稔幸	県立薩南病院
63988	井上 美里	キラメキテラスヘルスケアホスピタル	48748	福留 三朗	今林整形外科
71656	井上 史央里	公立種子島病院	56233	福山 直樹	じんごあんクリニック
99999	大迫 栄一	じんごあんクリニック	26098	藤崎 拓郎	川内市立医師会立市民病院
57158	大迫 俊一	相良病院	41248	藤崎 誠	南風病院
22359	太田原 美郎	明輝会クリニック	33947	藤下 由美子	天草慈恵病院
53897	大塚 麻里	上山病院	28815	藤橋 弘	川辺生協病院
99999	上村 元	コニカミルタジャパン(株)	56161	舟田 悟	浅ノ川総合病院
33998	川西 義浩	南州メディカル	49651	穂山 和章	厚生連病院
42039	木佐貫 克朗	加世田病院	74359	牧元 静那	明輝会クリニック
72117	岸上 洋一	前原総合医療病院	99999	前田 道利	フジフィルムヘルスケア(株)
26099	児玉 公輝	県立薩南病院	64148	松崎 友香	霧島市立医師会医療センター
77829	木場 あかり	川内市立医師会立市民病院	57550	松永 大和	霧島整形外科
43950	佐多 洋二	馬場病院	43756	南野 隆志	サザンリージョン病院
73986	佐藤 直彦	TMG あさか医療センター	69917	三園 幸一	済生会川内病院
36315	佐藤 浩司	阿多病院	47129	山崎 慎治	松岡救急クリニック
99999	柴田 敏宏	コニカミルタジャパン(株)	99999	宮菌 博	九州放射線(株)
67651	副島 恭平	大井病院	71289	宮元 涼平	明輝会クリニック
24831	園田 実郎	久木田整形外科	56071	蓑田 辰則	今村総合病院
76919	立石 ひめ乃	県立薩南病院	38389	吉村 洋一	鹿児島市医師会病院
28818	長野 勝悟	馬場病院	▶会員：41名 ▶メーカー：5名 ▶非会員：1名		
35101	野中 康博	菊野病院	▶会場参加：24名 ▶WEB参加：23名		
28489	馬場 隆行	今村総合病院	計47名参加		

【過去5回の南薩地域研修会参加数一覧】

回	開催日	会場	総数	放技師	非会員	メーカー	学生	他職種	懇親会	備考	
42	令和5年 11月18日(土)	県立薩南病院	38	32	0	6	0	0	無	秋季学術大会兼ねる！ 県立薩南病院移転後開催 (WEBと対面のハイブリット)	
41	令和5年 2月25日(土)	WEB開催	24	20	0	3	0	1	無	初WEB開催、他職種は 講演された中山医師	
40	令和2年 2月29日(土)	県立薩南病院	CT研究会との合同開催企画⇒直前で中止(コロナ感染の影響)								コロナ感染の影響で すべて中止
39	令和1年 9月28日(土)	県立薩南病院	38	27	1	6	4	1	11	初の試み「自然災害」の 講演	
38	平成31年 2月23日(土)	サザンケア ハウス	38	27	2	8	0	1	18	サザンリージョン病院隣接 の施設	

【研修会写真】

前原総合医療病院正面▶



▲前原総合医療病院会議室



▲馬場氏の熱いハンズオン



◀久しぶり開催の懇親会

第 21 回 鹿児島県医療情報システム研究会 & 鹿児島県医療画像情報精度管理士部会 開催報告

鹿児島県医療画像情報精度管理士部会 武宮 太

日時 2024 年 2 月 27 日 (火曜日) 18 時 30 分 ～ 20 時 30 分

会場 Web 開催(Webex Meetings)

参加費 放射線技師会員・学生・メーカー：無料 技師会非会員：2,000 円

プログラム

1. 開会挨拶 鹿児島県医療情報システム研究会 代表世話人 若松 重良
2. 鹿児島県医療画像情報精度管理士部会活動報告 部会長 武宮 太
司会:谷口 裕樹
3. 障害に強いネットワークの作り方(40分) 18:40～19:20
アライドテレシス株式会社 江島 祐司氏
4. 富士フイルムメディカル～医療 AI の取り組み～(40分) 19:20～20:00
富士フイルムメディカル株式会社 中村 恵一氏
5. 施設報告(30分) 20:00～20:30
 - 1) 富士フイルムメディカル社製 CXR-AID の使用経験と評価について
昭南病院 相川 晃太
 - 2) 富士フイルムヘルスケア社製 CT SCENARIA View の使用経験
大井病院 副島 恭平
 - 3) 富士フイルムメディカル社製 SAI viewer の使用経験
鹿児島市立病院 永田 隆二

※質疑応答

閉会挨拶 武宮 太

第 21 回鹿児島県医療情報システム研究会&鹿児島県医療画像情報精度管理士

部会 Web 合同開催を 2024 年 2 月 27 日(火)18:30～20:30 で開催いたしました。

参加者は 130 名(会員 109 名、非会員 2 名、メーカー10 名、学生 5 名、その他 4 名)

で、鹿児島県内参加者は約 40 名、北は北海道から南は沖縄まで沢山の方にご参加いただきました。過去最高の参加者となりました。

鹿児島県医療情報システム研究会に関してですが、今回から前任の太田原美郎代表世話人に代わりまして、鹿児島大学病院の若松重良会員が新たに鹿児島県医療情報システム研究会代表世話人に就任いたしました。

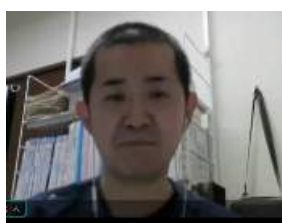
司会は鹿児島大学病院 谷口会員に務めて頂きました。



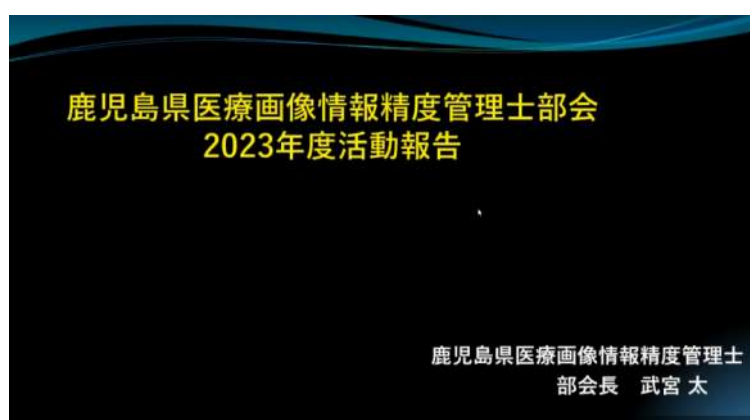
代表：若松会員

司会：谷口会員

鹿児島県医療情報システム研究会代表世話人の挨拶の後に、2023 年度の鹿児島県医療画像情報精度管理士部会の報告をさせて頂きました。



管理士部会：武宮



次に、「障害に強いネットワークの作り方」について、アライドテレシス株式会社 江島氏より、「富士フイルムメディカル～医療 AI の取り組み～」について、富士フイルムメディカル株式会社 中村氏に講演して頂きました。



中村氏



江島氏

施設報告として、昭南病院 相川会員、大井病院 副島会員、鹿児島市立病院 永田会員に発表して頂きました。



相川会員



永田会員



副島会員

今回は県外の参加者も多く大盛況に終わりました。

今後も鹿児島県医療情報システム研究会や鹿児島県医療画像情報精度管理士部会を通して鹿児島から情報を発信していきたいと思えます。

今後ご参加のほどよろしくお願ひいたします。

次回、2024年7月13日(土)午後より、鹿児島県医療情報システム研究会単独開催予定です。詳細分かり次第、ご案内いたします。

令和5年度鹿児島さくらRT研修会 開催報告

鹿児島さくらRT世話人 相良病院 川口 風李

令和5年度鹿児島さくらRT研修会を2024年2月29日(木)19:00~21:00 Webにて開催致しました。

参加者は34名(県外14名,一般、他職種8名)の方に御参加いただき盛会に終えることができました。

◇研修会プログラムは以下の通りです

日時: 令和6年2月29日(木) 19時~21時

会場: Web開催

司会進行 相良病院 川口 風李

19時~19時10分【開会挨拶】

【県技師会活動報告】 (公社)鹿児島県診療放射線技師会 会長 太田原 美郎

座長 いまきいれ総合病院 丸尾 美由紀

19時10分~20:50分【講演】

「スキントア(皮膚裂傷)防止と患者対応について学ぼう」

- ・看護師の立場から (40分) 鹿児島市立病院 永田 富美子
- ・診療放射線技師の立場から(30分) 沖縄県立南部医療センター 新城 雅
- ・理学療法士の立場から (30分) いまきいれ総合病院 谷吉 航

20時50分~21時00分【質疑応答】

21時00分【閉会の挨拶】 (公社)鹿児島県診療放射線技師会 理事 南 紫織

「スキントア(皮膚裂傷)防止と患者対応について学ぼう!」というテーマで3人の講師の先生にお話して頂きました。

看護師の立場からは皮膚・排泄ケア認定看護師の方から褥瘡とスキントアの違いや実際の現場では、どのようなケアをしているのか等を、分かりやすく教えていただきました。

診療放射線技師の立場からは、沖縄県立南部医療センターの取り組みについて事例を交えてお話していただき、スキントア防止と患者の対応について自施設でのアンケート結果も交えながらの講演でした。

放射線技術科内で行っている勉強会やスキントアの救急セットのお話も、とても勉強になりました。

理学療法士の立場からは介助者が腰痛をおこさないためのボディメカニズムの話や簡単な移乗方法、車椅子の用途別の種類や福祉用具の使用について教えて頂き、明日から早速、実践してみたいと思いました。

質疑応答では沢山の質問が出ました。関心の深さを感じました。

私自身、今回初めて「スキン-ケア」という言葉を知りました。講演の中で言葉の意味から基本的なこと、また他施設においての取り組み等を知り、自施設においても取り入れられることはないか考えるきっかけとなりました。

他にも患者移乗など日頃の業務の中で何気なく行っている動作ですが、今回の講演で介助者も患者様も楽に安全に移乗できることが大切であることを学びました。

今後も研修会等を通して、さまざまな分野で情報共有をしていけたらと思います。

鹿児島さくらRT研修会は今後も、男性、女性皆様の参加をより多く望めるよう女性活躍促進の一助となるよう、研修会を企画運営していきたいと思ひます。

今後も鹿児島さくらRT研修会への御参加をよろしくお願ひいたします。



司会:川口 風李 技師



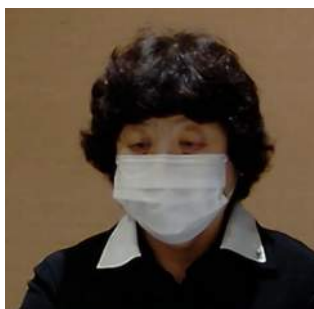
太田原 美郎 会長



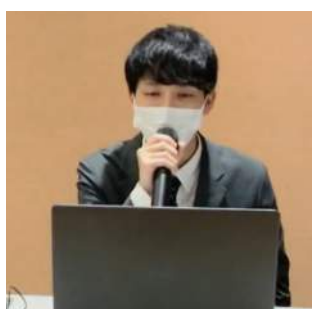
座長 丸尾 美由紀 技師



南 紫織 理事



講師:永田 富美子 先生



講師:谷吉 航 先生



講師:新城 雅 先生

世話人

丸尾 美由紀 (いまきいれ総合病院)、柳川 絢海 (南風病院)、上川 翔美 (今村総合病院)

元日田 調 (鹿児島大学病院)、坪口 彩香(相良病院)、大小田 美月 (鹿児島市立病院)、川口 風李 (相良病院)、

松野下 直美 (徳久整形外科)、野中 康博 (菊野病院)、南 紫織 (相良病院)

令和5年度第32回北薩地域研修会 開催報告

北薩地域理事 前田 健一郎

令和5年度第32回北薩地域研修会が下記日程、内容で昨年同様にWeb配信にて開催されました。今回の参加者は、昨年度より増加し60名を超えるご参加をいただきました。

今回は、教育講演として「還暦60歳おやじ、吠えまくりの60分 診療放射線技師の知っておきたい 見ておきたい60症例」と題して川内市医師会立市民病院 放射線科部長 三木徹生先生より様々な症例を提示していただきました。また、緊急時の対応、造影剤の使用例、デュアルエナジーCTでの撮影等についてわかりやすくご講演いただきました。

次に情報提供としてCT装置をキャノンメディカルシステムズ(株)山岸悠樹先生、MRI装置をシーメンスヘルスケア(株)諸井貴先生に最新の情報をご提供いただきました。

施設紹介として卓翔会記念病院の新村栄次氏に病院の概要や、施設内の様子をご紹介いただき、CT装置の性能評価を公表していただきました。

会員報告として川内市医師会立市民病院の生見良太氏より当院の骨密度の現状に加え、今後の取り組みについて発表していただきました。そして最後に県立北薩病院の安永勇太氏より、心筋遅延造影・ECVについて撮影方法、解析方法を詳しく発表していただきました。

どれをとっても非常に興味深く、今後の業務に大きく活用できる内容だったのではないかと思います。しかしながら今回は、開催途中で配信トラブル等が発生し時間を大幅にオーバーしてしまい、皆様にご迷惑をお掛け致しました。申し訳ありませんでした。時間配分等、今後の課題にさせていただきたいと考えております。

最後に、ご発表頂いた先生方、ご参加くださいました皆様に深く感謝いたします。また次年度の開催に対し会員の皆様のご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

【参加者】

副島恭平 松永大和 佐藤直彦 藤崎拓郎 田中義朗 池田聖樹 坂口右己 井上美里
二渡智英 石原広大 吉村洋一 田川伸夫 蓑田辰則 愛下剛 濱田智太郎 井上史央里
山下大介 大塚麻里 溝下育男 安永勇太 吉村伸一郎 新村栄次 田辺妃呂和 木村圭佑
沖中裕幸 田原妃乃 田辺亮 米田寛彬 堀之内勇作 山下翔護 中村晋輔 秋葉裕史
脇田慎一 福留慎也 姫野康弘 元村重吉 大藺建 丸尾美由紀 生見良太 山崎隆也
田代航基 福崎力也 上藺侑大丈夫 三園幸一 藤崎誠 牧元静那 池田真一 武宮太
久保ゆかり 前田麗安 渡幸二郎 要夏生 太田原美郎 伊藤良平 野中康博 大迫俊一
藺田大樹 神原健二 児玉佑太 山岸悠樹 平野晶敏 諸井貴 田中崇士 前田健一郎
(敬称略)



太田原 美郎 技師会会長



前田 健一郎 北薩地域理事



教育講演 三木 徹生 先生



吉村 伸一郎 北薩地域世話人



三園 幸一 北薩地域世話人



新村 栄次氏



元村 重吉 北薩地域世話人



生見 良太氏



久保 ゆかり 北薩地域世話人



【日程及び会場】

日時 : 令和6年3月7日(木)
時間 : 17:55 ~ 21:00
会場 : Web形式

【開会の挨拶】 17:55 (公社)鹿児島県診療放射線技師会 北薩地域理事 前田 健一郎

【会長挨拶】 (公社)鹿児島県診療放射線技師会 会長 太田原 美郎

【教育講演】 18:00 ~ 19:00 座長 川内市医師会立市民病院 前田 健一郎

『 還暦 60歳おやじ、吠えまくりの60分』

診療放射線技師の知っておきたい 見ておきたい 60症例』

川内市医師会立市民病院 放射線科 部長 三木 徹生 先生

【情報提供】 19:10 ~ 19:50 座長 出水郡医師会広域医療センター 吉村 伸一郎

『 最新モダリティ技術の紹介 』

1. CT 装置 キヤノンメディカルシステムズ(株) 山岸 悠樹 先生
2. MRI 装置 シーメンスヘルスケア(株) 諸井 貴 先生

【施設紹介】 19:50 ~ 20:20 座長 済生会川内病院 三園 幸一

『 新病院、卓翔会記念病院の紹介 』 卓翔会記念病院 新村 栄次

【会員報告】 20:30 ~ 21:00 座長 出水総合医療センター 元村 重吉

1. 『 当院、骨密度検査について 』 川内市医師会立市民病院 生見 良太
2. 『 心筋遅延造影・ECVについて 』 県立北薩病院 安永 勇太

【閉会の挨拶】 21:00 北薩地域世話人 県立北薩病院 久保 ゆかり

第 27 回 鹿児島 MRI 研究会 開催報告

鹿児島大学病院 岩永 崇

第 27 回鹿児島 MRI 研究会を令和 6 年 3 月 8 日（金）18:30 より Web 配信で開催いたしました。今回のテーマは、近年臨床で需要が非常に高まっている『Bone imaging』としました。基礎講座として Philips Japan の伊藤祐貴さんに「The Basic of FRACTURE」というタイトルで基礎原理から臨床活用例まで臨床画像を供覧しながら分かり易くお話し頂きました。施設報告は医療法人明成会 塩川医院 山下達也さんと福岡県済生会二日市病院 新井英雄さんの 2 名にご発表頂きました。山下さんは SIEMENS 社の MRI を用いた bone imaging の臨床の実際を、新井さんは Philips 社の MRI で撮像したものを Fujifilm 社のワークステーションを用いた手術支援用の bone imaging 撮像のポイントについてそれぞれお話し頂き、ベンダーを越えた使用感や臨床経験を聞くことのできる貴重な会となりました。

研究会として 5 度目の Web 開催でした。今回も県内外より 52 名と、多くの方々にご参加頂きました。参加頂いた会員の皆様に厚く御礼申し上げます。今後は現地開催も見据えながら、年 2 回のペースを維持して開催できるよう企画運営に努めて参ります。また多くの皆さまのご参加をお待ちいたしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

- 開催日時 令和 6 年 3 月 8 日（金）18:30 ～ 20:00
- 場 所 Web 開催

【内容】

1. 基礎講座 18:30～19:00 座長 いまきいれ総合病院 浮田 啓一郎

『The Basic of FRACTURE』 Philips Japan 伊藤 祐貴

2. 施設報告 19:00～20:00 座長 鹿児島大学病院 岩永 崇

① 『3D-Multi-echo in-phase sequence を用いた MRI による CT like imaging (bone image) について』

医療法人明成会 塩川医院 山下達也

② 『MR Bone Imaging を利用した手術支援』

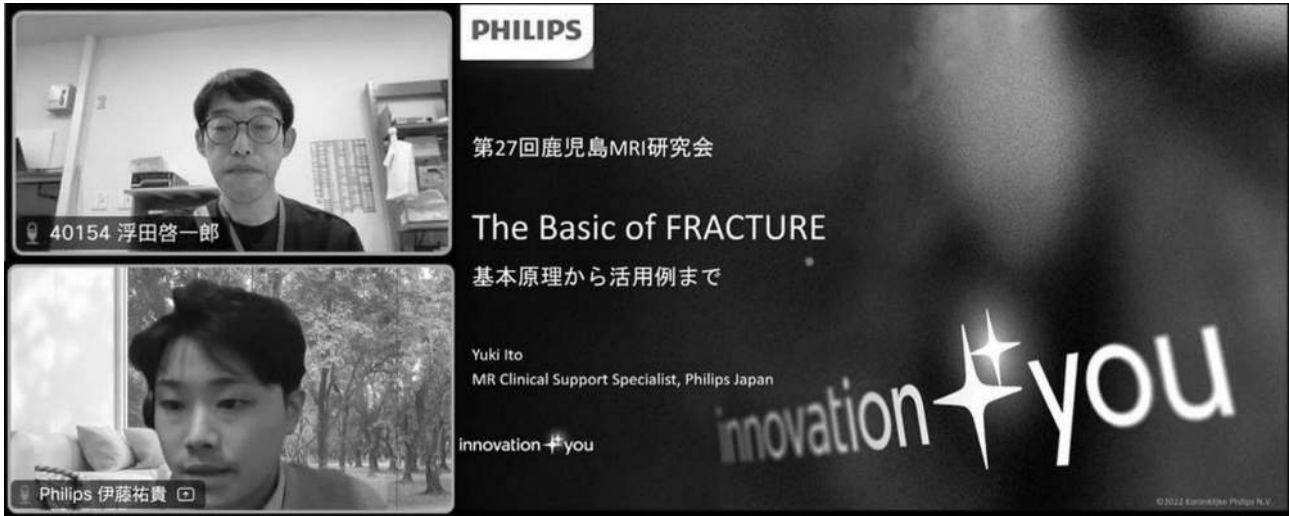
福岡県済生会二日市病院 新井英雄

代表世話人：鹿児島大学病院 岩永 崇

世話人：いまきいれ総合病院：浮田 啓一郎、池田 真一/南風病院：中原 武志/大隅鹿屋病院：永山 崇臣/わきた内科・脳神経内科：浅井 愛邦/鹿児島大学病院：大塚 洋

第 27 回鹿児島 MRI 研究会 (2024 年 3 月 8 日)

【開催の様子】



基礎講座：座長 浮田さん、発表者 伊藤さん



施設発表 1：座長 岩永、発表者 山下さん



施設発表 2：発表者 新井さん、質問者 大塚さん（鹿児島大学病院）

令和5年度 鹿児島乳腺画像研究会 開催報告

鹿児島乳腺画像研究会 代表世話人 隈 浩司

今回、2023年度鹿児島乳腺画像研究会を開催しました。企画から運営まで全て担当しましたが、大変な作業でした。無事終了することが出来て良かったでした。藤崎副会長や大迫総務理事にお手伝いしていただき、感謝しています。会員56名、非会員13名の69名申し込みがありました。今回の企画では、国内において乳がんの罹患率が増加し、鹿児島でもわずかに増加傾向にあります。乳がん検診精密検査実施協力医療機関は、以前は、50施設ほど登録していましたが、現在は、半分の26施設になりました。その原因は、精密医療機関の登録条件に、「第三者によるマンモグラフィ画像評価を受けていること。」とあり、乳がん検診精度管理中央機構の施設画像評価に合格することになっていますが、この評価が難しく、登録できない深刻な状況にあります。また、乳腺外科の医師も少なくなっており、地方の病院は益々乳腺の診療が出来なくなっています。

まずは、第一章で、『MG ポジショニング改善のためのちょっとしたポイント』という題名で伊藤 真矢さん（トヨタ記念病院 健診センター（精中機構技術委員））にお話し、ポジショニングでのチェックポイントについて施設画像評価A認定取得（全国でA認定は3施設のみ）の素晴らしい画像を提示してもらい、また良い例と悪い例を示しながら、様々な乳房形態に応じたポジショニングの改善点について講演してもらいました。とてもわかりやすく、参加者も理解できたことと思います。

第二章では、『マンモグラフィ施設画像認定を合格するために！』を隈が担当し、施設画像認定の現状から、合格するために、何をすべきかについて講演しました。精中機構から現状の施設画像認定の分析結果を入手し、項目別にどのようなポジショニングで画像を撮影すると点数を減点されないかという内容であった。第一章から第二章への連携とポジショニングの重要性にフォーカスした内容で研究会を終えました。年度末で、理事の方々にもご迷惑をおかけしました。来年度は、計画的に開催いたします。よろしくお願いいたします。鹿児島県のホームページより下記グラフ抜粋



令和5年度 鹿児島市夜間急病センター 第3回当直者研修会 開催報告

いづろ今村病院 脇田慎一

令和5年度鹿児島市夜間急病センター第3回当直者研修会を2024年3月18日(月)19:00~20:30にwebにて開催致しました。当日は司会・進行をいづろ今村病院 脇田が務めました。

今回の研修会では、鹿児島市夜間急病センター勤務者対象アンケート結果報告と題しまして12月の勤務者研修会で行ったアンケートを基に鹿児島県診療放射線技師会の太田原美郎会長からアンケートの結果報告がありました。

アンケートの内容を基に太田原会長と夜間急病センター勤務者でのディスカッション形式での研修となりました。撮影の判断基準や運営方針、感染の予防策について意見交換が行われました。また太田原会長より小児撮影領域に関する撮影方法や小児撮影時の安全確保や正しいポジショニング、小児科医が求める画像、読影についてなど実際の画像を提示いただきご講演いただきました。ご講演いただいた内容は、鹿児島市夜間急病センター勤務時にすぐ活用できるものばかりで非常に充実した時間となりました。またカメラ、マイクの不具合もあり、Web開催でのディスカッションの難しさも痛感いたしました。

会議の終わりには、勤務者にて連絡調整会議を行い、情報共有を行いました。

【参加者】

濱田智太郎、井ノ上祐二、平田勝、三反田正紀、新村栄次、四本斉、飯伏順一、脇田慎一、淵脇崇史、上釜健作、吉野健、松下啓、渡邊義治、恵智徳、二間瀬竜太、伊藤大助、泊誠一 牧野竜大 池田真一、田川伸夫、太田原美郎

ディープラーニングを活用したノイズ低減処理

「Intelligent NR」の物理特性評価報告

～ 一般撮影装置「RADREX」 & X線デジタルラジオグラフィ「CXDI」システム ～

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

九州支社 営業推進部

1998年にX線デジタルラジオグラフィ「CXDI シリーズ」を発売して以来、ソフトウェアとハードウェアの両面から、操作性の向上や高画質化への取り組みなどを続けている。なかでも、画像の粒状性の向上、すなわちノイズ低減は高画質化のみならず、被検者の被ばく線量低減にも寄与する重要な研究・開発テーマと考えてきた。

このたび、このテーマの成果の一つとして、新ノイズ低減処理「IntelligentNR」を開発し、2022年3月、キヤノンからCXDIシリーズのコントロールソフトウェアのオプションとして全世界に向けて提供することを発表した¹⁾。そして同年9月、キヤノンメディカルシステムズ株式会社は、一般撮影システム「RADREX」に組み合わせる「CXDIシリーズ」のオプションとしてIntelligent NR を発売した²⁾。そこで、本稿では、RADREXとの組み合わせにおけるIntelligent NRの物理特性について報告する。

Intelligent NRのネーミングコンセプト

Intelligent NR には、AI (ArtificialIntelligence : 人工知能) 技術の一つであるディープラーニング技術で学習された畳み込みニューラルネットワーク (convolutional neural network : CNN) を採用した。

本技術は大量の画像データによる機械学習を応用しており、従来のノイズ低減処理では困難だった極めて複雑なノイズの特徴を判別、除外することが可能な新しいノイズ低減処理を提供できるようになった。

この新しいノイズ低減処理は、AI技術を活用していることと、従来のノイズ低減処理と一線を画す先進的で賢いノイズ低減処理であることを明示すべく、「知的な、利口な、賢い」を意味するIntelligentを冠し、「Intelligent NR」と命名した。

Intelligent NR (以下、INR) の原理

従来のノイズ低減処理は、一般的には画像全体に平滑化処理を行う単純なものからスタートし、その後、画像を周波数帯域ごとに一定のルールに従ってノイズの判別や平滑化処理などを適用することでノイズを低減するという方式に進化してきた。しかしその技術の基本は、人為的に一定のルールを定める「ルールベース方式」であるため、X線撮影プログラムと連動してルールを設定したとしても、その数には限りがある。そのため、ある部位における特定のX線量の画像に対しては適正に機能しても、

想定外にX線量が少ない画像や撮影プログラムで網羅していない部位などでは、適切なノイズ低減効果が得られないことがあったり、解剖学的な信号を減弱または必要以上に強調してしまうなど、これ以上の性能改善は望めない状況となっている。

INRの開発では、ノイズのない画像（以下、目標画像）と目標画像にノイズを付加した画像（以下、ノイズ画像）を用意し、ノイズ画像をCNNに入力してノイズを除去させ、その結果と目標画像が一致するようにCNNのパラメータを更新するという反復学習を行った。

目標画像には、臨床画像や人体ファントムなど計3000画像を使用した。ノイズ画像は、キヤノン独自の高精度ノイズシミュレーション技術によって、さまざまな線量でのノイズを生成し目標画像に付加したもので、数千万画像を作成しCNNに学習させた。これにより、あらゆる部位、撮影条件（X線量）の画像から、必要な画像信号に影響を与えることなく不要なノイズ信号のみを低減することが可能なノイズ低減処理が実現した。

なお、学習に用いるノイズ特性はFPDの特性に依存するため、現段階でINRが適用できるFPDは、「CXDI-Elite」シリーズである。

また、INRの処理時間は、1画像あたりハーフ解像度で0.5秒、フル解像度で約2秒。したがって、撮影後にINR処理された画像がCXDIのシステムモニタにハーフ解像度で表示される時間は従来と同等で6秒以内、オプションの高精細セカンドモニタにフル解像度で表示される時間は従来より約2秒延長する。なお、INR処理によって画像のデータ量が変わることはないため、INR処理した画像をPACSなどにDICOM転送した後、読影用ビューワで表示する時間は従来と変わらない。調整パラメータは、10段階の強度設定のみである。また、INRは従来のノイズ低減処理の約250倍の演算量を処理するアルゴリズムであり、従来のPCの能力で換算すると約1分の処理時間を要するため、指定のGPU（graphic processing unit）カードを装着したPCでのみ機能するように設計されている。

*「Intelligent NR」はノイズ低減処理の設計段階でAI技術を用いており、本システム自体に自己学習機能は有していません。

おわりに

今回、Intelligent NRの開発によって、ノイズ低減処理技術の分野で一つのブレークスルーを成し遂げることができたと考えている。ノイズ低減処理は、画像処理の中では上流に位置する処理あり、ノイズ低減処理の性能（結果）がそれ以降のさまざまな画像処理や画像解析の性能に大きな影響を与えるとんでも過言ではない。しかし一方で、X線画像はただよく見ればよいというものではなく、長い年月をかけて臨床現場で培われてきた読影ルールに沿ったものでなければ、例えばfalse positiveの増加などの弊害を生んでしまう恐れもある。

キヤノンはこれからも、X線画像は診断のためにあるということを常に意識し、臨床現場でX線画像診断に携わる方々のご意見やご要望に耳を傾け、X線画像診断をさらに発展させるべくお手伝いのできるメーカーでありたいと考えている。

Intelligent NR 臨床画像：胸部撮影（120kV、0.6mAs）



ノイズ低減処理 OFF

従来ノイズ低減処理

Intelligent NR

Intelligent NR
DEEP LEARNING

人工知能
Artificial Intelligence
(AI)

機械学習
Machine Learning
(ML)

深層学習
Deep Learning
(DL)

AI技術の1つであるディープラーニングを用いて、鮮鋭度の維持と、粒状性の改善を両立。
CXDIが提供する新しいノイズ低減処理技術 (Noise Reduction)

●参考文献

- 1) キヤノン株式会社ニュースリリース（2022/3/23）「AI 技術を活用しX 線画像のノイズを従来处理比で最大50%低減。キヤノンのDR コントロールソフトウェア用画像処理技術を開発」<https://global.canon/ja/news/2022/20220323.html>
- 2) キヤノンメディカルシステムズ株式会社ニュースリリース（2022/09/15）
「CXDI のノイズ低減処理ソフトウェア「IntelligentNR」を発売」<https://jp.medical.canon/News/PressRelease/Detail/121373-834>

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会

令和 5 年度第 4 回理事会 議事録（抄）

日時：令和 6 年 3 月 2 日 11 時 00 分～

場所：鹿児島県診療放射線技師会 事務所（Web 開催）

出席理事：

太田原 美郎, 藤崎 拓郎, 大迫 俊一, 渡邊 義治, 藤崎 誠
愛下 剛, 浮田 啓一郎, 木場 淳, 野中 康博, 市來 守
吉田 紫織, 堀上 英昭, 伊藤 助, 木原 悠太, 木佐貫 克朗
本村 克朗*, 熊谷 繁夫*, 脇田 慎一*, 前田 健一郎*

*WEB 参加

欠席：米重 亮馬, 坂口 右己, 東 幸浩, 元 俊晶

出席監事：池田 睦

議長：藤崎 拓郎

開会挨拶

議題

議題 1：会長・副会長・各常務理事による活動報告

鹿児島県技師会 学術賞について

印刷会社変更と会報の本文カラー印刷化の提案

補正予算について

資金調達および設備投資の見込みについて

告示研修について

各地域連絡網の構築

LINE 運用について

議題 2：会員動向報告（第 6 条）

県技師会ホームページの入会手続き案内について

議題 3：次年度事業計画

議題 4：次年度予算案

議題 5：その他

①「令和 6 年能登半島地震」の災害における

義援金について

閉会挨拶

会を始めるにあたり定款第 35 条に則り、会長の太田原美
郎を議長とし、直ちに議事に入った。

開会

議長より理事の過半数以上が出席しており、令和 5 年度

第 4 回理事会の開催が宣言された。太田原会長は、議事
録採取人に大迫総務理事を指名し、議事に入った。

一部理事は Web 会議システムを利用しての出席であるが、
議長は、審議に先立ち出席者の姿及び音声が他の出席者
に伝わり、出席者が一堂に会するときと同等に相互に円
滑に意思の疎通ができることを確認した。

**第 1 号議案 会長・副会長・各常務理事による活動報告
会務報告は別紙参照**

会長（太田原）：

特になし

副会長〔学術〕（藤崎 拓郎）：

特になし

表彰（野中）：

令和 6 年秋の叙勲申請について進捗について

県技師会より 1 名推薦し、申請書類を県くらし保健福
祉部へ提出。2 月中旬に県くらし保健福祉部より、候補
者の主要経歴者は厚労省ではなく（令和 7 年春以降の受
章を目指し）文科省への推薦を行うよう連絡あり。県技
師会としては、これまでの実績等を踏まえて今後も技師
会から優先的の推薦、推薦時期などを検討する。

J A R T 表彰

11 月 13 日付けで 50 年表彰 1 名、30 年表彰 3 名、計 4
名の推薦書類を発送した。表彰が確定するのは 4 月以降、
表彰式は 10/31-11/3 沖縄県で開催される日本放射線技師
会学術大会で行われる。

30 年表彰においては、今回も多く候補者を抱えながら、
辞退する方も多く 3 名にと留まった。

鹿児島県技師会学術賞について

表彰規程細則の学術賞は、過去に表彰実績がない。規
程細則では「研究発表 10 回を超えた者」とあり、対象者
を選出するのが課題である。鹿児島市地域の活動として

学術担当と連携して表彰へとつなげたい、という意見あり。詳細については、地域・部会・研究会を対象とした研究会開催についての意見交換会にて検討することとなった。

大迫総務理事より学術賞の中から論文（原著）を書いた者を、鹿児島地域研修会で3名程度表彰をすることの説明がある。対象者は、経緯・作成時の苦労話・内容・アドバイスについて30分ぐらい発表していただく。また、対象者に関しては各地域・部会・研究会から推薦してもらい選抜する。次年度は3名程度で検討したいと思うが、たくさん推薦があった場合は今後検討をしていくことの報告があった。

以上、学術賞について出席理事全てが同意し承認された。

福利厚生（愛下）：

各種届出の状況について

慶弔申請書（会員の結婚）が1件2月に申請があった。

ホームページの活用状況について

研究会のお知らせに合わせてLINEを活用し、今後は積極的に広報する。LINE登録者進捗は、目標の会員数の7割に対して132名（21.4%）と半数にも達していないため、各研究会や会報等でLINE登録の案内を引き続き行う。

これまでは、原則技師会会員を対象に会員サイト経由で登録をお願いしていたが、登録が進まないため研究会開始前の案内や会報等で直接登録ができるQRコードの案内をすることとなった。

広報（浮田）：

印刷会社変更と会報の本文カラー印刷化の提案

現在、印刷会社はイースト朝日ですが、原稿送付後に送られてくる印刷用データを確認すると印刷範囲からはみ出しても修正せずそのまま送られてくる。校正までお願いしているにも関わらずこちらが満足する仕事をしていない。

会報第138号では、最終の印刷用データでは枠が表示されていたのに、送られてきた会報では枠がきれていた。

印刷会社を探してみると、表紙と本文をカラー化しても今の費用と変わらない価格で印刷できることから、カラーで印刷できる印刷会社を検討し、価格、データ入稿

の容易さより冊子印刷ドットコムとプリントパックの2社が残りましたが、学会抄録集の印刷や会報印刷などで実績があり、さらに会誌発送作業の負担軽減を考慮、個別発送も行なってくれる冊子印刷ドットコムに決定したい。

三役会議にて、印刷（カラー）・仕上がり・発送準備・発送・データやり取り方法を踏まえて、冊子印刷ドットコムと株式会社 トライ社の見積もりを元に検討することとなった。

1, 冊子印刷ドットコム：合計 ¥291720 円

- ・ 会報カラー印刷 A4 70 ページ 650 冊 ¥183040（税込）
- ・ 会誌発送代 角 2 封筒封入 ゆうメール便 封筒代含 650 冊個別配送 ¥108680（税込）

2, 株式会社 トライ社：合計 ¥303875 円

- ・ 表 1・2 のみカラー 表 3・本文全てモノクロ 57 ページ / 無線綴じ 650 部 200200 円（税込）
- ・ 会誌発送代 角 2 封筒封入 発送代 封筒代含 650 冊個別配送 103675 円

上記 2 社で検討を行い、冊子印刷ドットコムを印刷会社とすることについて出席理事全てが同意し承認された。

次回会報準備状況について

次号は総会前の5月を予定しているが、原稿の集まり状況について報告がある。「あなたにもできる被ばく相談」について南薩地域学術担当の川西氏にお願いしたところ快諾にてA4の11ページの原稿を提出してもらっている。「能登半島地震におけるDMAT派遣報告」について米盛病院の伊藤理事といまきいれ総合病院の濱田技師にお願いし原稿を待っている状況である。「鹿児島県原子力防災訓練への参加報告」こちらはいまきいれ総合病院の林技師に依頼しているところである。あとは「企業における最新技術紹介」について今回はCANONに打診をしている。他のメーカーにも打診をしたが、会報が会員だけでなく協賛企業へも送られておりお断りされたことからCANONからは返事待ちとなっている状況について報告があった。「ボウリング大会の報告」について大井病院の愛下理事に依頼をしている。「若手技師における施設紹介」について今回は市立病院に、編集後記を市立病院の米重理事にお願いしている。あとは各研究会の報

告と理事会議事録になっている。

財務（渡邊）：

中間監査を 2024 年 1 月 14 日に坂元事務所で行っています。参加者は池田監事、太田原会長、大迫総務理事、米山監事、渡邊財務理事、木原理事で行い。今年度の 9 月末までの半期分を監査してもらい滞りなく終了している。昨年 9 月の公益監査では前回の理事会でも報告した通り、下記①と②の承認が必要になる。

① 補正予算について

会計処理規定の第 4 章 第 15 条に補正予算についての記載がありますが、『軽微』の定義があいまいな点と補正予算は総会の決議が必要と謳っているため、臨時総会を開く必要がでてくる。公認会計士に確認して、補正予算を実施する必要はないとの事であるため削除する。ただし、予算管理はしっかりやっていく必要がある。

*別紙：新旧対照表 18. 会計処理規程(20231014)参照以上、会計処理規定の改訂について出席理事全てが同意し承認された。

② 資金調達および設備投資の見込みについて

こちらは、毎年度予算案と一緒に出さなければならなかったのだが、過去に出された実績がなくまた実際に資金調達が必要なこともなかった。しかし、今後は事務所建替えや数百万円の出費が必要となることが考えられることから、このような資料が必要となってきた。現時点では資金調達・設備投資の必要性はない。

*別紙：資金調達および設備投資の見込みを記載した書類参照

以上、資金調達および設備投資の見込みについて出席理事全てが同意し承認された。

特定費用準備資金の新設に向けてこれまでの経緯と今後の計画について

2022 年 11 月に鹿児島県から公益法人移行時からの財務諸表に関する指摘を受けて対応をしている。その過程

で収支相償を達成するため、これまで余剰金が発生した場合は事務所積立金として計上していたが、収益事業を行っていないため、収支相償達成のための事務所積立資産が認められないことが分かった。

令和 4 年度時点で繰越余剰金は 3,919,898 円あり、これを相殺することが必要である。解消方法は、単年度の収支を赤字にするか、新たに特定準備資金を新設し流動資産（現金）を数年かけて移行しなければならないこととなった。

【今後の課題】

- ・特定準備資金の新設に伴う規程の作成、および公益法人法上の問題点とのすり合わせ
 - ・余剰金 3,919,898 円の解消計画の策定
 - ・事務所建替え資産の積立計画の見直し
- 今後、決まり次第改めて理事会に諮ることとなった。

学術（藤崎 誠）：

藤崎誠理事よりこれまでに開催された研究会等の開催報告がなされた。

次に、下記の内容について報告がある。

つながる想いイベント報告について

次回開催は 2024 年 5 月 12 日に鹿児島県民交流センターにて開催する。イベント参加費：1000 円（バルーンリリース代）講演会等は無料。例年同様にバルーンリリース、各種ブース出展予定。特別講演として院内学級の先生に講演をしていただく方向で調整中であることの報告があった。また、つながる想いイベントに関しては毎年協賛金を出していますが、今回も 5 万円協賛金を払うこととなった。

以上、つながる想いイベント協賛金に関して出席理事全てが同意し承認された。

研究会動画記録について

各研究会の代表に研究会の後日配信についてアンケートの報告があった。後日配信については 9 名全員が必要との回答が得られた。ただ、アーカイブの視聴に関しては、視聴するタイミングに関しても半年後や次回開始後など期間をある程度かけるといった意見や 2 週間後など

意見や、事前参加申し込みとチケット購入などの対策が必要などの意見について報告があった。今後の進め方については、再度地域・部会・研究会を対象とした研究会開催についての意見交換会を開催し意見を聞いたうえで次回理事会に諮ることとした。

第1回 JART & 九州学術教育合同委員会報告

今年度は、第1回日本放射線医療技術学術大会(沖縄)が11月にあるため、第19回九州放射線医療技術学術大会(宮崎県)は、2025年12月21日(土)~22日(日)の日程で行うこととなった。場所はシーガイアコンベンションセンターとなっています。あと、令和6年度九州地域放射線技師研修会(熊本)については、10月を予定していますが詳細は決まっています。決まり次第、技師会ホームページ等で案内をしたいと思います。2025年度の第20回九州放射線医療技術学術大会は鹿児島大会です。2025年度の九州地域放射線技師研修会も順番的には鹿児島大会ですが、重なるので福岡と順番を入れ替えてもらうかもしれないとのこと。

告示研修について

告示研修については、今年度後半の開催では定員割れとなっており前回(1月21日開催)は、定員48名ですが参加者は28名であった。28名だとファシリテータが4名で開催での開催となり業務過多となるため、今後の開催方法の検討をしないといけない状況にある。他県も同じ状況にあり、来年度夏には福岡・佐賀・熊本の3県合同開催を久留米市で計画あり、他の県についても県境で実施する可能性がある。次年度も参加者が定員割れとなる可能性が高いため、開催回数を1回減らして3回開催することとなった。あと、次年度は統一講習会を1回開催する予定であることの報告があった。以上、令和6年度告示研修の開催回数を3回にする件について出席理事全てが同意し承認された。

各部会・研究会について

太田原会長より各部会・研究会について現状の世話人がどのようになっているか把握できていないので、組織表を必ず提出することと、活動の流れや状況が把握できないので世話人会を必ず実施し提出を徹底するように各代表表をお願いをするように、学術理事へ依頼があった。各部会・研究会には次年度活動計画に合わせて報告の依

頼をしている。資料に関しては今度末までに集まるように再度依頼をすることとなった。

総務(大迫):

各地域連絡網の構築

技師会からのお知らせや災害等の緊急時連絡を通達する手段として以前は各地域において連絡網がありましたが、10年前から更新されておらず機能していない。再度、地域理事に依頼して構築を検討したが、伝達にも時間がかかるなどの問題もあることから、現在県技師会で運用している会員向けのLINE登録を活用していくこととした。以上、連絡網の運用をLINEへ移行する件について出席理事全てが同意し承認された。

LINE運用について

前回の理事会においてLINEをライトプランへ契約変更し活用促進していくことが承認されましたが、LINEの配信担当者についてLINE配信担当者と掲載内容の承認ルールについて以下の提案があった。

- 1, LINE配信担当者は運用面の観点から、①技師会からの案内は総務理事、②研究会等の案内は学術理事、③イベント等の告知については総務理事・広報理事にて行うこととする。
- 2, 掲載にあたっては、”三役の承認”を取り事前にチェックすることにしました。承認にあたり書式を作成するので、そちらに記載し電子サイン(Adobe Acrobat Sign)にて承認を取る。承認者は作成者と三役とする。

以上、LINE掲載運用について出席理事全てが同意し承認された。

議事録回覧と保管について

理事会など技師会を運営するにあたり記録が必要な会議の議事録については、原本は県技師会事務所に保管するものとし、電子データをGoogleドライブにPDFで保管・回覧することとする。また、Googleドライブのアクセス権は理事のみとする。

以上、議事録回覧と保管について出席理事全てが同意し承認された。

公文書発行一覧について

公文書発行一覧について総務理事から説明がある。

別紙：公文書発行記録参照

議題 2 会員動向報告（第 6 条）：組織理事

組織（木場）：

県技師会ホームページの入会手続き案内について

入会申請者に対して組織メールアドレスから技師免許証送付依頼メールを送信しているが、「迷惑メールフォルダ」に分類され確認が遅れるケースが頻発している。対策を模索しているが対処法の一つとして県技師会ホームページメニュー「放射線技師の方へ」のサブメニュー「入会のご案内」の案内文書「2、入会申込者に診療放射線技師会免許（PDF または JPEG）の送付についてメールが鹿児島県診療放射線技師会より届きます。」に「届いていない場合は迷惑メールフォルダの確認をお願いいたします。」と追記したいとの意見があった。

各理事の意見を元に、案内文書を「2、入会申込者に診療放射線技師免許（PDF または JPEG）の送付についてメールが鹿児島県診療放射線技師会より JART に登録されているメールアドレスに届きます。届いていない場合は迷惑メールフォルダの確認をお願いいたします。」へ変更することとなった。

以上、入会手続き案内について出席理事全てが同意し承認された。

会員動向（2024 年 2 月 29 日現在）

年 月	月末 会員数	入 会	転 入	転 出	退 会
2022年度末集計	584	33	8	3	7
2023 年 10 月	614	2	0	0	6
2023 年 11 月	618	5	0	0	1
2023 年 12 月	618	1	1	0	2
2024 年 1 月	616	1	0	0	3
2024 年 2 月	618	1	1	0	0

1. 前回理事会以降（2023/10/14～2024/2/29）新入会 8

名、再入会 1 名、退会 6 名、転入 2 名、勤務先施設情報変更申請（県立薩南病院：移転による住所変更）各処理を行った。2024/2/29 現在正会員数は 618 名。

- 退会届の備考欄に（退会は、年度末、令和 6 年 3 月 31 日の予定です）と記載されたものがあり、JART 事務局に問い合わせ。JARTIS 退会申請は事務局最終営業日の 3/29 午前中に「受付」すれば即「受理」と回答有り。しかし来年度分会費払込票と会報誌 4 月号は発送されており廃棄してもらうようメール対応とした。（該当者には送信済）現時点で 3 名該当。
- 新たに県技師会ホームページ個人ページ作成された会員（2022/11/14～2023/12/13 入会の 56 名）に対してログイン案内のメールを送信した。
- 会費 2 年分未納者（2023/12/15 時点 12 名）に対して会費納入催促のメールを送信した。JARTIS にメール登録のない 2 名の対象者には大迫総務理事より書面の郵送を依頼した。2024/2/28 時点で 14→6 名まで減少しているのである程度の効果あったと思われる。
- 組織理事宛に「退会手続き」に関する問い合わせが急増している。特に勤務先に入電あり病院業務に支障を生じ始めている。大迫副会長と協議し「各種申請は会員サイトからオンライン申請をお願いします」と題して投稿記事を作成した。大迫副会長へ技師会ホームページと LINE に記事掲載お願いした。
- 退会申請者より「退会届を提出した際に退会手続きが完了したらメールにてご連絡をいただけるのことでしたが、まだ届いておらず、手続きの進行状況についてお聞きしたく…」と問い合わせ有。JART 事務局へ問い合わせたところ、JART 側で退会受理した際退会申請者と県技師会に対して退会通知メールを送信していると回答があった。（そのため県技師会

としては退会通知メールを送信していない)今回提出された退会届に記載されたメールアドレスが JARTIS 登録されているアドレスと異なっていたためだと思われる。また別件で会費未納で退会申請された会員についても退会届に記載された住所、勤務先情報と JARTIS 登録情報が異なっており払込票が届いていなかった可能性がある。こちらで代行修正を行い JART 事務局に対して未納分の払込票を郵送するよう依頼し納入に至った。今後退会承認する際 JARTIS 情報の確認・修正も必須であると思われた事例であった。

退会届や各種申請は会員サイトから手続きを行っていますが、現在の会員サイトの記載内容ではわかりにくいので内容を木場組織理事に検討していただき修正することとなった。

議題 3 次年度事業計画

今年度は、WEB を中心とした活動に加えて一部 Hybrid 開催(3回)でも行った。令和6年度の事業においては、現地とWEB併用開催の頻度を増やすなど積極的な活動を行いたいと考えている。公益事業として、「つながる想い in かごしま」およびピンクリボンイベントへ参画し、がん患者さんへの理解とイベントのサポートを行なう。また、市民公開のレントゲン週間イベントについては、市民公開講座の開催を予定している。あと、今年度に新たに追加した放射線教育事業に関しては、実施することができなかったため、令和6年度は小学校や中学校で放射線に関する講義も実施できればと考えている。以上、次年度計画に関して出席理事全てが同意し承認された。

議題 4 次年度予算案

正味財産増減計算書を元に説明があった。予算に関しては、会員数の増加に伴い増やしていることと、広告収入を今年度実績12社から18社程度へ増える見込みのため、目標の20社から25社へ変更としている。

これまでは、公益事業会計と事業会計を6対4の比率で計画していましたが、今年度から一部5対5に変更している。

以上、次年度予算案に関して出席理事全てが同意し承認された。

議題 5 その他

鹿児島市医師会夜間急病センターについて(脇田理事)

①2月末で勤務者1名が退くことになり、21名での業務となる。今後の採用に関しては、現在の規約ではアドバンス取得済であることといった条件もあるため、改訂も含めて検討していきたい。

②令和6年3月18日に令和5年度第3回鹿児島市夜間急病センター勤務者研修会をWebで開催する。講師は鹿児島県診療放射線技師会太田原美郎会長。参加者は勤務者のみで開催する。

「令和6年能登半島地震」の災害における義援金について(大迫理事)

「令和6年能登半島地震」の災害における義援金の募集についてのお知らせが JART から会長あてに届いている。この内容に関してはすでに JART 会報にも掲載されていますが、令和6年能登半島地震に起因する本会会員の人的被害および会員が主として居住する家屋の損壊に対する支援を目的としたもので、多くの会員から募集している。

すでに会員サイトとLINEで広報をしていますが、鹿児島県診療放射線技師会としても義援金をだしてもいいのではと、太田原会長から提案があり5万円出すこととなった。

以上、県技師会から能登半島地震へ義援金を出す件に関して出席理事全てが同意し承認された。

閉会

議長より全ての議事が終了し、令和 5 年度第 4 回理事会の閉会が宣言された。

以上の決議を明確にするため。この議事録を作成し定款第 38 条 2 項に沿って、会議に出席した理事及び監事の中から指名した議事録署名人 2 人以上がこれに署名（電子署名及び認証業務に関する法律第 2 条第 1 項に規定する電子署名を含む。）するものとする。

今回は、太田原会長、池田監事、渡邊理事、木場理事を議事録署名人とする。

以上

令和 6 年 3 月 16 日

議事録作成者：理事 大迫 俊一

第9回 ボウリング大会 & 懇親会 開催報告

令和6年 3月2日(土)に15年ぶりに、【第9回ボウリング大会】が鹿児島市内の“T-MAXBOWL”で開催されました。当日のボウリング大会には、22名の参加があり、その後の、懇親会にも16名の参加となりました。



緊張の始球式

8レーンの第1投目を、一斉に投げる会員の皆様。

20代から60代までが一斉に投げる姿は、鹿児島県診療放射線技師会会員の世代交流を思わせる光景でした。

今回は個人戦・2ゲーム制。ハンデキャップを設けることで、実力だけではわからない壮絶な戦いが繰り広げられました。



親睦を深める瞬間

最初の緊張感もいつのまにか、ストライクやスペアを獲得するたびに、お互いがハイタッチ!!

瞬く間に会員同士の距離が縮まる瞬間が数多く見ることができました。

優勝は誰の手に!?



ハンデキャップが決め手となり、
優勝は・・・

鹿児島市医師会病院
木場 淳 会員
(写真中央)

点数 **283点**

“拍手”

他のレーンで活躍されている会員に対して行われる
“拍手”



学会等で会場から貰う拍手とは、違う気持ちの良い拍手をもらっていました。



最後は参加者全員で集合写真を撮影しました。コロナ明けで初めて顔を合わせる会員同士でも、この距離感で写真が撮れるなんて。。。嬉しい限りです。

ボウリング大会 表彰者

表記された順位は点数ハンデキャップ
込みでの順位となります

- 優勝：283点** 木場 淳(コバ アツシ) 会員 (鹿児島市医師会病院)
- 準優勝：275点** 津曲 楓真(ツマガリ フウマ) 会員 (いづろ今村病院)
- 3位：273点** 脇田 慎一(ワキタ シンイチ) 会員 (いづろ今村病院)



飛び賞

- 7位：市來 守(イチキ マモル) 会員 (今村総合病院)
- 15位：大園 健一(オオゾノ ケンイチ) 会員 (鹿児島大学病院)

- ブービー賞：下田 知佳(シモダ トモカ) 会員 (いづろ今村病院)
- 敢闘賞：宮元 涼平(ミヤモト リョウヘイ) 会員 (明輝会クリニック)

終了後は・・・

お楽しみの懇親会

ボウリング大会を終えて 熊襲亭にて16名が懇親会に参加していただきました。

懇親会から参加していただいた会員もいらっしゃって、楽しく過ごされたようです。

懇親を深めた会員が、2次会、3次会まで行かれたが.....想像にお任せいたします。



ボウリング大会 懇親会参加者

- | | | | | |
|-------|-------|--------|-------|--------|
| 愛下 剛 | 川野 零旺 | 木原 悠太 | 市來 守 | 岩永 崇 |
| 大迫 俊一 | 大園 健一 | 太田原 美郎 | 大塚 洋和 | 木佐貫 克朗 |
| 木場 淳 | 下田 知佳 | 瀬戸口 勲 | 武宮 太 | 津曲 楓真 |
| 中窪 広昌 | 野中 康博 | 原口 織歌 | 福丸 智美 | 藤崎 拓郎 |
| 前田 麗安 | 南 紫織 | 宮元 涼平 | 惠 智徳 | 脇田 慎一 |
| 渡邊 義治 | | | | |

50音順表記



今回は15年ぶりの開催となりました第9回ボウリング大会。

前回の18名の人数を何とか上回ることができました。

今回の報告を見た会員の方々が、興味を持っていただけるような企画を今後も実現できると幸いです。

福利厚生担当 愛下 剛



第2回

若手技師による施設紹介

鹿児島市立病院 七村 翼 技師（鹿児島地域）



「若手技師による施設紹介 鹿児島市立病院編」を担当させていただくことになりました。鹿児島市立病院の七村 翼と申します。

施設紹介の前に簡単に自己紹介をさせていただきます。2021年に入職し、もうすぐ4年目に突入します。私の日々の業務内容は一般撮影、ポータブル、CT、透視、血管撮影、外科用イメージ操作などを行っています。休みの日は、家でゆっくりすることが多いですが、すごく元気な時は桜島でサイクリングをすることもあります。



○施設紹介

鹿児島市立病院は2015年から上荒田町に移転しました。それまでは加治屋町にありました。現在跡地は、加治屋まちの杜公園となっています。ちなみに当院となりには似たような感じで上荒田の杜公園があり、休日には子供連れでにぎわっています。1周300mほどのランニングコースがあり、私自身仕事終わりや休日にランニングで使用しておりおすすめの公園です。

当院の人員は放射線科医7名、放射線技師35名（60代1名、50代4名、40代5名、30代16名、20代9名）、クレーク2名、受付7名、介助スタッフ1名で構成されています。また装置は一般撮影装置5台、パノラマX線撮影装置1台、マンモグラフィ撮影装置1台、骨密度測定装置1台、体外衝撃波結石破砕装置1台、ポータブル撮影装置7台、Cアーム透視撮影装置4台、血管撮影装置3台、ハイブリッドアンギオ装置1台、X線TV透視撮影装置5台、CT3台、MRI3台、SPECT装置1台、PET装置1台、リニアック1台、RALS1台、治療計画用CT2台（リニアック、RALS）を保有しています。

職場の雰囲気は和気あいあいと言った感じでしょうか。先輩後輩関係なく、みんなで協力して業務をこなし業務以外にも他愛もない会話をするような感じ
です。また厚生会が企画するイベントにも積極的に参加しており、昨年はバレーボール大会に参加してきました。大会前にも何度か練習するほどで、翌日動けないほど指導してくださる上司には感謝してもしきれません。

話は変わりますが、現在鹿児島市立病院は感染症病棟や手術室増室のために再整備を計画しています。今後の目標としましては、再整備に伴う業務拡大に対応するために未経験のモダリティを習得していき、病院または医師のニーズにしっかり応えることができる放射線技師になりたいと考えています。最後までご覧いただきありがとうございました。



今回のお題は「コロナ禍が明けてから旅行行きましたか？」

会員参加型新企画のアンケート調査にご協力いただいた会員の皆様。ありがとうございました。
今回は **13 名** の皆様に回答をいただきました。（気のせいか、うちの施設の方が多かったような…。
他の施設の方も次回はずいぶん）。気になる**結果**を発表いたします。

質問 1 コロナ禍が明けてから旅行へ行きましたか？

旅行へ行った 11 人（84.6%） 旅行へ行っていない 2 人（15.4%）

2 人の方が旅行にはまだ行けていませんと回答いただきました。
実際は旅行に行くことを躊躇している方もまだまだ多いのではないかと思います。

質問 2 行き先はどちらでしたか？

- ・東京、神奈川、東京ディズニーリゾート、関東と回答された方 計 6 人
- ・九州、福岡、熊本と回答された方 計 4 人
- ・北海道、大阪 各 1 名
- ・鹿児島県曾於市、垂水と回答された方 計 2 人

関東方面（ディズニーランドを含め）やはり強いですね。
近場の鹿児島県内と答えた方もいらっしゃいました。鹿児島に住んでいても知らないところやまだ行けていないところも多いですね。

質問 3 旅行の思い出や旅行先で感動したこと、旅行先のおすすめポイントなどありましたらぜひ教えてください

- ・去年生まれた娘と初の家族旅行（30 代）
- ・ディズニーランド、スノーボード（30 代）
- ・曾於市末吉町にある Bakery NOA のパン屋さんがすごく美味しくて感動しました。
そのあとは、溝ノ口洞穴やフォレストアドベンチャーおおすみに行き満足でした。是非オススメです（20 代）
- ・コロナ禍で会えなかった遠方の友達に会えたのがとても嬉しかったです（30 代）
- ・親子三代での久々の温泉旅行（60 代以上）

コロナ禍が明けて、旅行を楽しんでいる会員の皆さんの様子が目に浮かんできました。
アンケートへのご協力ありがとうございました。

次回のお題は「あなたのストレス解消法を教えてください」です。



鹿児島県診療放射線技師会会報

表紙写真募集!!

鹿児島県診療放射線技師会では、会報の表紙を飾る写真を公募いたします。県内各地を訪れた際に撮影した写真や日常目にした風景など会員の皆様の写真をお待ちしております。

テーマ : 自由

応募締め切り : 2024年8月31日

応募方法 : keiichirou.ukita@gmail.com まで添付ファイルでお送りください。応募多数の場合はこちらで選考させていただきます。

担当：浮田啓一郎（広報）

会員参加型企画

鹿児島県診療放射線技師会会員アンケート調査

第2回目のお題は

「あなたのストレス解消法を教えてください」



<https://forms.gle/G1PggkDhu1UMpJFQ8>

結果は次号会報（第140号）に掲載!!
回答時間5分ほど。回答締切2024年8月10日
会員の皆さんの多数の回答をお待ちしています。

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 行事・活動予定

2024 年

5 月	11 日(土)	期末監査	相良病院
	12 日(日)	つながる想い in かごしま 2024	かごしま県民交流センター
	15 日(水)	第 58 回鹿児島 CT 研究会	WEB 開催
	19 日(日)	表彰委員会	相良病院
	23 日(木)	放射線管理士部会研修会	WEB
6 月	02 日(日)	令和 6 年度 第 1 回理事会	相良病院
	15 日(土)	甲状腺簡易測定研修	タイセイアネックス
	16 日(日)	第 103 回 定時総会及び春季学術大会	相良病院・WEB
7 月	13 日(土)	予定_第 21 回鹿児島県医療情報システム研究会	
	20 日(土)	第 9 回 FRT 九州研修会	長崎
	28 日(日)	フレッシュャーズセミナー	
8 月	11 日(日)	令和 6 年度第 1 回告示研修	鹿児島医療技術専門学校
9 月			
10 月	31 日～	第 1 回日本放射線医療技術学術大会	沖縄
11 月			
12 月	21 日～	第 19 回九州放射線医療技術学術大会	宮崎

漏洩線量測定事業のご案内

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会では、放射線を取扱う専門職として資格を有する団体の一般社会への利益還元事業と公益事業の一環として、放射線安全管理の啓発を兼ねた環境測定事業を実施しています。基本的には、該当施設会員と放射線管理士部会からの派遣技師と 2 名で実施する予定です。法令で規定してある測定は X 線検査室の周囲だけではなく敷地内病室、居住区域、敷地境界も測定しなければなりません。その測定方法及び測定値の取扱いについての説明も致します。また、測定事業に併せて施設の放射線管理のアドバイスも行っております。

些細な事でもご相談ください。

料金は、会員がいる施設が、基本料金 2 万円+測定料金 1 方向 5 千円、会員がいない施設は基本料金 4 万円、ただし、歯科医院等の場合は、基本料金は 2 万円となっています。

ご希望の施設がございましたら、見積等をご提示しますので下記電話メールにてご照会下さい。

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 放射線管理士部会 担当 藤崎

☎0996-23-4418 (川内市医師会立市民病院放射線課) krt2@kagoshima-rt.jp

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会役員名簿

事務所住所 〒892-0861 鹿児島県鹿児島市東坂元4丁目28-11

2023-2024年度

役職名		氏名	所属
会長		太田原 美郎	明輝会クリニック
副会長		藤崎 拓郎	川内市医師会立市民病院
		大迫 俊一	相良病院
常務理事	総務	大迫 俊一	(兼務)
	財務	渡邊 義治	清泉クリニック整形外科内科
	学術	藤崎 誠	南風病院
	福利厚生	愛下 剛	大井病院
	広報	浮田 啓一郎	いまきいれ総合病院
	組織	木場 淳	鹿児島市医師会病院
	表彰	野中 康博	菊野病院
理事	総務	脇田 慎一	いづろ今村病院
		市來 守	今村総合病院
		東 幸浩	鹿児島医療技術専門学校
	学術	藤崎 拓郎	(兼務)
		本村 克朗	鹿児島大学病院
		吉田 紫織	相良病院
		堀上 英昭	鹿児島医療センター
		伊藤 大助	米盛病院
	広報	米重 亮馬	鹿児島市立病院
	財務	木原 悠太	鹿児島市立病院
地域理事	鹿児島	伊藤 大助	(兼務)
	北薩	前田 健一郎	川内市医師会立市民病院
	霧島・始良	坂口 右己	霧島市立医師会医療センター
	大隅	熊谷 繁夫	昭南病院
	南薩	木佐貫 克朗	加世田病院
	大島	元 俊晶	鹿児島県立大島病院
監事		池田 睦	白坂医院
		米山 光明	川内市医師会立市民病院(外部)

編集後記

新年度が始まり早一ヶ月、何かと慌ただしい4月も終わり、夏が待ち遠しい季節となりました。新人の方も、部署を異動された方も、そろそろ新しい環境に慣れた頃でしょうか。そういう私の職場にも初々しい新人が入職し、改めて、放射線技師に成りたての頃の初心を思い返すものでした。

話は変わりますが、前会報より始まりました「若手技師による施設紹介」を今回、当院の非常に仕事のできる後輩に依頼しました。そうしたら一言目が「前は、いまきいれ総合病院さんが書いていましたよね？」との回答があり、おおー、ちゃんと会報を見てくれているんだと、少し嬉しくなりました。これこそ、会長の求める充実した会報に一步近づいたのかなと感じたところでした。

また、今回編集後記を作成する中で、編集後記のこの短い文章ですら自分が思っている以上に時間をかかりました。そうした中で、編集者として執筆を依頼する側ですが、忙しい中、皆様が本当に快く引き受けて頂き、そうした心遣いで会報が成り立っていると感じたところでございます。この場を借りて深く感謝を申し上げます。

最後になりますが、今年の夏は猛暑が予想されておりますので夏バテしないようにご自愛ください。ではまた次号にて。

(米重亮馬)

鹿児島県診療放射線技師会 会報 第139号(令和6年5月)

発行 : 公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

発行人 : 太田原美郎

編集者 : 大迫俊一、浮田啓一郎、米重亮馬

印刷 : 冊子印刷ドットコム

奈良県奈良市三条栄町 9-18

0120-734-132

X線CT装置

NAEOTOM Alpha with Quantum Technology CT redefined.

www.siemens-healthineers.com/jp

The world's first photon-counting CT

イノベーションにより技術が飛躍的に進歩すると、常識が変化することがあります。世界初*のフォトンカウンティングCTの登場はまさにその瞬間と言えます。フォトンカウンティング検出器を採用したNAEOTOM Alphaは、CTの定義を一新しました。QuantaMax detectorは先進的な直接信号変換をベースとして開発されており、より多角的に臨床情報を得ることが可能になります。

*2022年2月 自社調べ



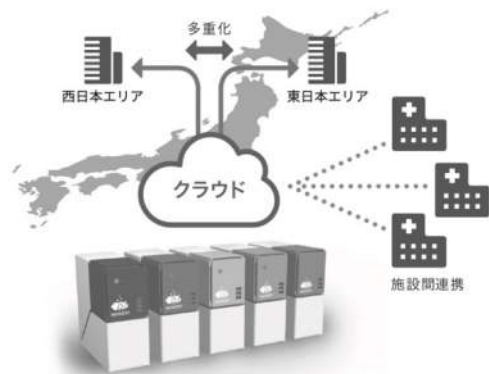
SIEMENS
Healthineers

全身用X線CT診断装置 ナエトム Alpha 認証番号: 304A8Z00004000



次世代PACSは セキュアなクラウドサービスへ

「NOBORI」はIT技術によって、
画像などの医療情報を安全に保管・利用できる
新しいクラウドサービスです。



Feature
01

院内サーバ
不要

Feature
02

スピーディーな
画像参照

Feature
03

安心・安全の
データ保管

Feature
04

初期投資
ゼロ

Feature
05

障害自動検知

Feature
06

施設間連携
にも対応



PSP株式会社 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号 博多大博通ビルディング12階 TEL. 03-5657-4315 www.psp.co.jp

Canon

Alphenix × Deep learning

Coronary Intervention を、さらなる高みへ

Alphenix Evolve Edition



α Evolve Imaging

AI (Deep Learning) を活用したリアルタイムの画像処理技術で画質の向上と被ばく低減を実現します。

ECG Sync

心電図波形に同期したタイミングでのX線照射により、心拍動を抑えた画像と被ばくの低減を実現します。

【一般的名称】 設置型デジタル式循環器用X線透視診断装置 【販売名】 X線循環器診断システム Alphenix INFX-8000V 詳しくは WEBで

【認証番号】 218ACBZX00001000 ※設計段階でAI技術を用いており、本システム自体に自己学習機能は有していません。



PHILIPS

It's not just helium-free MR operations.

It's excellent quality images and patient-centric workflow.

ヘリウムフリーのMR運用とAIによるタスクサポートにより、生産性の高い持続可能なMR検査体験を全ての人へ。 Together, we make life better.

innovation + you

株式会社 フィリップス・ジャパン
www.philips.co.jp/healthcare

販売名: フィリップス Ambition 1.5T
医療機器認証番号: 231AFBZX00015000
設置管理医療機器/特定保守管理医療機器
管理医療機器

記載されている製品名などの固有名称は、Koninklijke Philips N.V. またはその他の会社の商標または登録商標です。
©2022 Koninklijke Philips N.V.



非イオン性尿路・血管造影剤 イオプロミド注射液 300注 20mL・50mL・100mL
 370注 20mL・50mL・100mL
イオプロミド 300注シリンジ 50mL・80mL・100mL 「BYL」
 370注シリンジ 50mL・80mL・100mL
 処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること) 薬価基準収載

※ 効能又は効果、用法及び用量、警告、禁忌を含む注意事項等情報等については、電子添文をご参照ください。

Clear Direction. From Diagnosis to Care.



Bayer

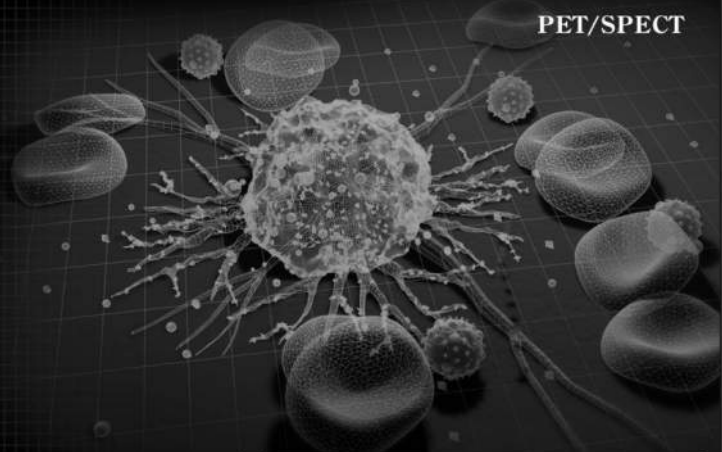
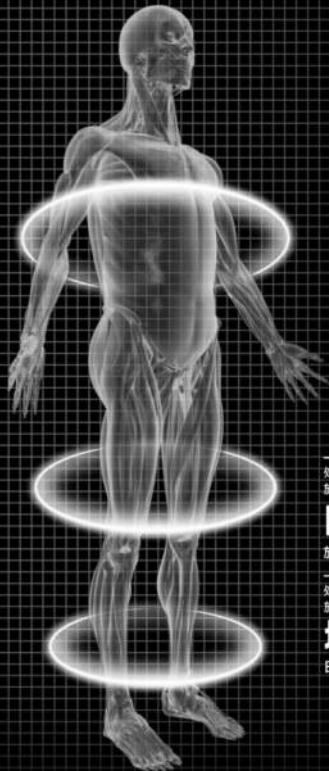
製造販売元 [文献請求先及び問い合わせ先]
バイエル薬品株式会社
 大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
<https://pharma.bayer.jp>
 [コンタクトセンター]
 0120-106-398
 <受付時間> 9:00~17:30(土日祝日・当社休日を除く)

Iopromide「BYL」

PP-IOPR-JP-0123-25-03

2024年3月作成

nihon
medi+physics



PET/SPECT

処方箋医薬品^{※1} 保険適用
 放射性医薬品・悪性腫瘍診断薬、虚血性心疾患診断薬、てんかん診断薬

FDGスキャン[®]注
 放射性医薬品基準フルデオキシグルコース (¹⁸F)注射液

処方箋医薬品^{※1} 薬価基準収載
 放射性医薬品・心臓疾患診断薬・甲状腺疾患診断薬・腫瘍(脳、甲状腺、肺、骨・軟部、膵臓)診断薬
塩化タリウム(²⁰¹Tl)注NMP
 日本薬局方塩化タリウム(²⁰¹Tl)注射液

処方箋医薬品^{※1} 薬価基準収載
 放射性医薬品・悪性腫瘍診断薬、炎症性疾患診断薬

クエン酸ガリウム(⁶⁷Ga)注NMP
 日本薬局方クエン酸ガリウム(⁶⁷Ga)注射液

処方箋医薬品^{※1} 薬価基準収載
 放射性医薬品・骨疾患診断薬
クリアボーン[®]注
 放射性医薬品基準ヒドロキシメチレンジホスホン酸テクネチウム(^{99m}Tc)注射液

®:登録商標

注)注意-医師等の処方箋により使用すること

■効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。



資料請求先

日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号

製品に関するお問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941

弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトで
 SPECT・PET検査について紹介しています。

<http://www.nmp.co.jp>

2016年3月改訂

Nemoto



DUOism

世界初のアンギオ用デュアルタイプインジェクター（2筒式）として高い評価を集める“PRESS DUO”。そこに込められた理念はそのままに、生まれたのが“PRESS DUO elite”です。多彩な先進技術と根本杏林堂の“ism”を集結して生まれた“elite”。アンギオの新時代は、ここから始まります。



PRESS DUO elite

Dual type Contrast Delivery System
for CT Like imaging

株式会社 根本杏林堂
東京都文京区本郷2-27-20 TEL.03-3818-3541
<http://www.nemoto-do.co.jp>



KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

多様な視点で未来をデザインする
RETHINK WHAT'S POSSIBLE

バッテリー内蔵“1.9kg”の軽量設計
迅速なワークフローを実現

超軽量 高感度 高耐久

AeroDR swift

1417HL

軽量化・把持性・高画質で、カセット撮影に変革を

バッテリー内蔵1.9kg	100μm画素/DQE59%*1	全周くぼみ設計
MIL規格*2	防水・防塵IP56*3	高耐久抗菌設計*4

AeroDR swiftは「デジタルラジオグラフィーSKR3000」を構成するP-85(製造販売認証番号:228ABBZX00115000)の呼称です。
★KONICAMINOLTAロゴ、シンボルマークは、日本及びその他の国におけるコニカミノルタ株式会社の登録商標です。★AeroDR swiftは、日本及びその他の国におけるコニカミノルタ株式会社の登録商標または商標です。★その他記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。*1:1mR, 1cycle/mm (DQEの数値はTypical値です。)*2:Method 516.7 Procedure IV Transit Drop (122cm(48インチ)の高さから、各板の上に6平方、12線線、8頂点を各1回落下させる。)*3:本製品の耐衝撃性能は、無破損・無故障を保障するものではありません。*4:IP規格(防水・防塵規格)は、IEC(国際電気標準化会議)によって定められています。本製品の防水・防塵性能は、完全防水・防塵、無破損・無故障を保障するものではありません。*4:抗菌効果は全ての箇所に有効ということではありません。また、抗菌は感染を完全に防げるわけではありません。

製造販売元:コニカミノルタ株式会社 販売元:コニカミノルタジャパン株式会社 105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 <http://www.konicaminolta.jp/healthcare>



超音波骨密度測定装置

販売名:超音波骨密度測定装置EchoSシステム
承認番号:30200BZX00264000

EchoS システム

測定方法

REMS法
Radiofrequency Echographic
Multi-Spectrometry



腰椎と大腿骨を測定する超音波骨密度測定装置
汎用超音波検査機能をオプションでオールインワン



EchoS PLUS



EchoStation

診療報酬

D217 骨塩定量検査
2 REMS法(腰椎)
REMS法による腰椎検査140点



REMS法による
大腿骨同時検査加算55点



D217 骨塩定量検査 2 REMS法(腰椎)	REMS法による腰椎検査 REMS法による大腿骨同時検査加算	140点 55点
----------------------------	-----------------------------------	-------------

製造販売元

東洋メディック株式会社



詳細は、弊社担当者またはこちらからお問い合わせください。

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3丁目8-5 住友不動産飯田橋駅前ビル
TEL:(03) 6825-1645 / E-mail: info@toyo-medico.co.jp / http://www.toyo-medico.co.jp



お客様へ、正しさに基づく安心を ご提供いたします。

TECHNOL

校正技術能力

年に1回

品質システム
維持能力

維持管理能力

放射線測定器の校正を済ませましょう

正しい測定、確実な放射線・放射能管理を行うためには、使用する測定器が定期的に校正されている必要があります。弊社大洗研究所は、計量法に基づく、校正事業者登録制度(JCSS)におけるγ線の登録業者です。国家標準とトレーサビリティが取れており、信頼性の高い校正サービスを提供いたします。



大洗研究所では、1972年から放射線標準を保有。計量法校正事業者登録制度(JCSS)におけるγ線の校正事業者として登録。また、国際MRA対応認定事業者として、国際相互承認(Mutual Recognition Arrangement)加盟国に通用する認定マーク付きの校正証明書が発行可能です。

● 弊社校正サービスは、ISO9001の要求事項(監視および計測機器の管理)に有効に活用できます。

※ 詳しくは下記までお問い合わせください。

放射線測定器校正サービス(一般校正)

放射線測定器校正

お問い合わせは

株式会社 千代田テクノル

E-mail: ctc-master@c-technol.co.jp
https://www.c-technol.co.jp

Creating a world where
healthcare has no limits



GE HealthCare

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

カスタマー・コールセンター 0120-202-021

【受付時間】9:00~18:00 ※土・日・祝を除く

gehealthcare.com

JB09455JA

システムに 求められるもの それは 労力なしでプラスα

私たちメディカルクリエイトが、
放射線業務を力強くトータル支援。

4つの管理

RiSMC
＜診断RIS＞

診断部門の業務全般を管理
予約管理～在庫管理、各種統計、
撮影支援、業務量管理 etc

RiSMC-RT
＜治療RIS＞

治療部門の業務全般を管理
予約管理～カルテ管理、Webレポート、
品質管理、データ抽出機能 etc

連携

RiSMC-DOSE
＜被ばく線量管理＞

医療法施行規則に対応した
被ばく線量の一元管理 PACS連携、
モダリティ連携、データ検索 etc

3mec
＜医療機器管理＞

改訂医療法に準拠した、機器管理
日常点検～保守点検、修理情報、
費用管理、資産管理 etc

＜放射線業務を力強くサポートするシリーズ＞

<http://www.medical-create.com>

MEDICAL CREATE

株式会社メディカルクリエイト
TEL 082-568-1920 FAX 082-263-1586
〒732-0827 広島市南区福荷町1-1 ロイヤルタワー 504 営業所(東京・大阪・中四国・福岡・東北・開発センター)



さまざまな検査を低線量・高画質でサポート

SONIALVISION G4  edition



製造販売認証番号 224AB8ZX00052000
設置型デジタル式汎用X線透視診断装置 [X線テレビシステム SONIALVISION G4]
設置型デジタル式汎用X線診断装置※、X線平面検出器出力採取型デジタルラジオグラフィ※
二重エネルギー管X線吸収測定装置※、管理医療機器、特定保守管理医療機器、設置管理医療機器
※本医療機器は複数の一般的な名称に該当します。



株式会社 島津製作所 医用機器事業部
<https://www.med.shimadzu.co.jp>

FUJIFILM
Value from Innovation

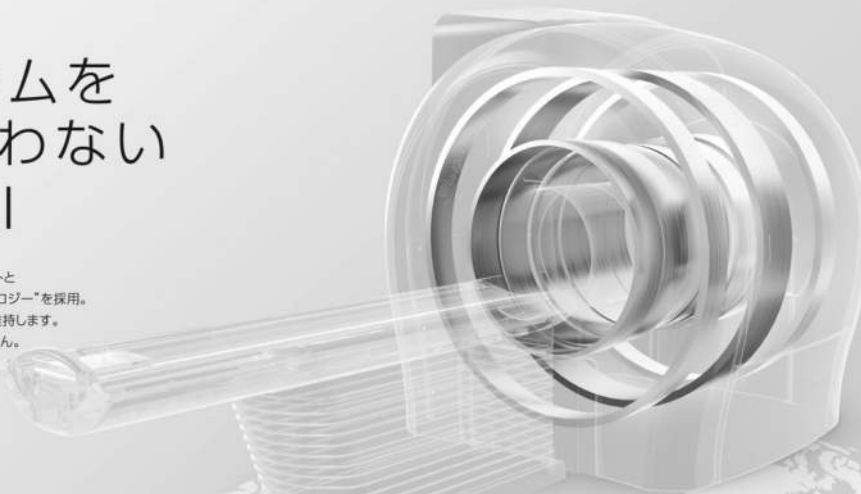
液体ヘリウムを
まったく使わない
超電導MRI

専用の冷却機構を持ったZeroHeliumマグネットと
磁場コントロールシステム“ZeroHeliumテクノロジー”を採用。
液体ヘリウムをまったく使用せず極低温状態を維持します。
液体ヘリウムによるクエンチ爆発率は発生しません。

「ZeroHelium」で吸着事故や災害時への不安、
復旧にかかる時間とコストの低減へ。

販売名：MRイメージング装置 ECHELON Smart
医療機器認証番号：229ABBZX00028000

●FUJIFILM および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。●ECHELON Smartは、富士フイルムヘルスケア株式会社の登録商標です。●ECHELON Smart ZeroHeliumは ZeroHeliumマグネットを搭載したモデルの呼称です。●仕様および外観は予告なく変更されることがあります。●本製品では一部再生資源を使用する場合があります。●装置の正しい使用のため、必ず「取扱説明書」、「電子化した添付文書」をお読みください。●本機器は、特定保守管理医療機器、設置管理医療機器に該当する医療機器です。●本医療機器は販売・貸与には販売業・貸与業の許可が必要です。●本機器はクラス2レーザー製品です。●オプション品を含みます。



ECHELON Smart ZeroHelium



※超電導状態を失った時の爆発的なヘリウムの放出を表現しています

FUJIFILM

富士フイルムヘルスケア株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂九丁目7番3号
<https://www.fujifilm.com/fhc>

第 103 回
公益社団法人
鹿児島県診療放射線技師会

定 時 総 会 資 料



日時：令和 6 年 6 月 16 日（日）10:30～12:00

会場：相良病院 11 階 はくあいホール

Web 併用開催

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

目 次

総会次第	1
令和5年度 活動報告総括	2
令和5年度 事業報告	3
令和5年度 決算報告	
貸借対照表	9
貸借対照表内訳表	10
正味財産増減計算書	11
正味財産増減計算書 内訳表	13
財務諸表に対する注記 附属明細書	15
財産目録	16
令和5年度 監査報告書	17
令和6年度 事業計画（案）	18
令和6年度 収支予算書（案）	21

令和5年度事業報告

総括

令和5年度も前年度と同様に本会創立の目的である診療放射線学及び診療放射線に関する技術の向上に発展並びに県民保健の維持発展に寄与する事業を行った。

昨年度はWEB開催だけではなく対面とWEBの併用開催を中心に本会の事業を行うことができた。

さて、令和5年度の事業報告として、告示研修は4回実施し業務拡大に伴う統一講習会も実施、例年開催しているフレッシューズセミナー、リーダー及びリーダー育成研修会、春季学術大会、鹿児島市夜間急病センター当直者研修会、市民健康まつり、原子力防災訓練への参加、各種表彰申請を行った。その他は、大隅地域、北薩地域、南薩地域で研修会を実施。秋季学術大会は、南薩地域で鹿児島X線撮影研究会との合同開催を対面とWEBの併用開催、今回は初めての試みとしてハンズオンを一般撮影室からの配信によりWEB参加の方々に配信した。

研究会活動は、鹿児島CT研究会を3回、鹿児島MRI研究会を2回、鹿児島県消化器画像研究会と鹿児島超音波研究会の合同大会2回、鹿児島県消化器画像研究会と鹿児島超音波研究会は単独でも1回、鹿児島乳腺画像研究会を1回実施しています。

管理士部会の研修会は放射線機器管理士部会研修会、画像情報管理士部会研修会をそれぞれ1回開催、放射線管理士部会研修会は講師との日程調整が不首尾に終わり令和6年度の実施となった。

令和5年度に計画していた事業を全て開催することはできなかったが、今後も対面とWEBの併用開催を中心に事業を進めたいと考えている。

1. 生涯学習の推進

安全で質の高い医療の提供を求める県民の負託に応えるためには、卒後教育が重要である。また、大きく変化していく診療放射線技術や社会情勢に対応すべく生涯学習の推進に努めた。

2. フレッシュアップセミナーの開催

日時：令和5年6月11日(日) 9:00～13:00
配信元：鹿児島医療技術専門学校／ハイブリッド
参加人数：22名

(フレッシュアップ 13名、会員4名、学生5名)

講師：西郷 康正、太田原 美郎、藤崎 拓郎、
藤崎 誠、東 幸浩、大迫 俊一

3. リーダー及びリーダー育成研修会

令和5年度リーダー及びリーダー育成研修会
日時：令和5年10月12日(木) 19:00～20:30
配信元：事務所／Webのみ
対象：会員及び非会員
参加者：52名

(会員50名、一般2名)

【特別講演】

『働きやすい職場環境づくりのための
ワーク・ライフバランスの考え方』
社会保険労務士 川口 真紀子 先生

4. レントゲン週間に放射線展の開催

「市民健康まつり」にて、レントゲン週間にイベント開催(パネル展示)を行った。

5. 特別企画の実施

未実施

6. 地域研修会の実施

6地域(鹿児島地域、南薩地域、北薩地域、霧島・始良地域、大隅地域、大島地域)のうち大島地域において試験的に現地とWEBのHybrid研修会を地域理事の企画において開催した。また、開催の規模や頻度に応じた助成を行った。

南薩地域

第43回 南薩地域研修会／X線撮影研究会
日時：令和6年2月24日(土) 15:00～19:00
配信元：前原総合医療病院／ハイブリッド
参加者：47名

(会員41名、非会員1名、メーカー5名)、
(WEB参加：19名)

内容：会員発表：2演題、メーカー講演：2演題
特別講演：1演題、ハンズオン

北薩地域

第32回 北薩地域研修会
日時：令和6年3月7日(木) 18:30～21:00
配信元：川内市医師会立市民病院／Webのみ
参加者：65名

(会員60名、非会員1名、メーカー4名)

内容：教育講演：1演題、
情報提供(メーカー)2演題、
施設紹介：1演題、会員発表：2演題

霧島始良地域

令和5年度 夏季霧島・始良地域研修会
日時：令和5年7月26日(水) 19:00～20:30
配信元：霧島市立医師会医療センター／Webのみ
参加人数：55名

(会員55名、非会員0名)

内容：施設報告：2施設、シンポジウム：3演題

霧島始良地域

令和5年度 霧島・始良地域研修会
日時：令和5年2月10日(土) 15:00～18:00
配信元：霧島市立医師会医療センター／ハイブリッド
参加人数：71名

(会員70名、非会員1名)

内容：施設報告：5施設、ミニレクチャー：1演題
特別講演：1演題

大隅地域

第50回 大隅地域研修会
日時：令和5年9月7日(木) 18:30～21:00

配信元：昭南病院／Webのみ

参加人数：29名

(会員25名、他職種1名、メーカー3名)

内容：会員発表：3演題、話題提供：1演題、
教育講演：1演題、

大島地域

令和5年度 大島地域研修会

日時：令和5年2月17日(土) 14:00～17:00

配信元：名瀬徳洲会病院／現地のみ

参加人数：17名

(会員12名、非会員0名、他職種1名
メーカー4名)

内容：話題提供：2演題、会員発表：2演題
教育講演：1演題

7. 学術大会の実施

令和5年度 鹿児島県診療放射線技師会秋季学術大会特別講演、春季学術大会

日時：令和5年6月18日(日) 13:00～17:00

配信元：鹿児島医療技術専門学校／ハイブリッド

参加人数：52名

(会員52名、非会員0名)

特別講演：「日本診療放射線技師会の新生涯教育制度について」

日本診療放射線技師会 川守田 龍 理事
会員発表：5演題

南薩地域研修会・

鹿児島県診療放射線技師会秋季学術大会

日時：令和5年11月18日(土) 14:00～18:00

配信元：県立薩南病院／ハイブリッド

参加者：38名

(会員32名、メーカー6社)、(WEB参加:11名)

内容：会員発表：3演題、メーカー講演：2演題、
特別講演：1演題

8. 各研究会の実施

鹿児島消化器画像研究会、鹿児島超音波研究会、

鹿児島CT研究会、鹿児島MRI研究会、鹿児島乳腺画像研究会、鹿児島X線撮影研究会を鹿児島県診療放射線技師会の事業とし、研究会の充実を図るとともに非会員に対して入会の勧誘を積極的に行う。また、各研究会の活動が充実していくための助成を行った。

鹿児島消化器画像研究会、 鹿児島超音波研究会

第72回 鹿児島消化器画像研究会

第22回 鹿児島超音波研究会 合同開催

日時：令和5年6月21日(水) 18:30～20:00

配信元：南風病院／Webのみ

参加人数：95名

(会員93名、非会員2名)

内容：講演：1演題、症例提示：5演題

第74回 鹿児島消化器画像研究会

第24回 鹿児島超音波研究会 合同開催

日時：令和6年2月7日(水) 18:30～20:00

配信元：南風病院／Webのみ

参加者：72名

(会員69名、非会員3名)

内容：講演：各1演題、症例提示：各2演題

鹿児島消化器画像研究会

第73回 鹿児島消化器画像研究会

日時：令和5年10月4日(木) 18:30～20:00

配信元：鹿児島共済会 南風病院／Webのみ

参加人数：50名(会員50名、非会員0名)

内容：教育講演：1演題、会員発表：4演題、

鹿児島超音波研究会

第23回 鹿児島超音波研究会

日時：令和5年8月23日(水) 18:30～20:00

配信元：霧島市立医師会医療センター／Webのみ

参加人数：51名

(会員49名、非会員1名、他職種1名)

内容：教育講演：1演題、会員発表：3演題、

鹿児島 CT 研究会

第 55 回 鹿児島 CT 研究会

日時：令和 5 年 5 月 17 日(水) 19:00～21:00

配信元：鹿児島共済会 南風病院／Web のみ

参加人数：113 名

(会員 107 名、非会員 0 名、メーカー 6 社)

内容：情報提供(メーカー)：6 演題

第 56 回 鹿児島 CT 研究会 (WEB 開催)

日時：令和 5 年 9 月 21 日(木) 19:00～21:00

配信元：いまきいれ総合病院／Web のみ

参加人数：84 名

(会員 80 名、他職種 1 名、メーカー 2 名、
非会員 1 名)

内容：情報提供(メーカー)：1 演題、

施設発表：2 演題、特別講演：1 演題

第 57 回 鹿児島 CT 研究会

日時：令和 6 年 1 月 24 日(水) 18:30～20:30

配信元：大井病院／Web のみ

参加者：102 名

(会員 99 名、メーカー 3 名)

内容：情報提供(メーカー)：1 演題、

施設発表：3 演題、特別講演：1 演題

鹿児島 MRI 研究会

第 26 回 鹿児島 MRI 研究会

日時：令和 5 年 8 月 25 日(金) 18:30～20:00

配信元：鹿児島大学病院／Web のみ

参加人数：86 名

(会員 81 名、非会員 4 名、学生 1 名)

内容：基礎講座：1 演題、特別講演：1 演題

第 27 回 鹿児島 MRI 研究会

日時：令和 6 年 3 月 8 日(金) 18:30～20:00

配信元：鹿児島大学病院／Web のみ

参加者：52 名

(会員 50 名、非会員 1 名、メーカー 1 名)

内容：基礎講座：1 演題、会員発表：2 演題

鹿児島乳腺画像研究会

令和 5 年度 鹿児島乳腺画像研究会

日時：令和 6 年 3 月 13 日(水) 18:00～20:00

配信元：鹿児島市立病院／Web のみ

参加者：68 名

(会員 57 名、非会員 3 名、メーカー 8 名)

内容：教育講演：2 演題

9. 管理士部会による研修会開催

安全で質の高い医療を提供するためには、放射線管理・機器管理・画像情報管理を適正に行うことが不可欠である。これらの管理は、日々の業務の中で継続的に実践することが重要である。より効率的な管理を行ううえで必要な講習会を管理士部会主催で開催した。

鹿児島県放射線管理士部会

日程調整都合で令和 6 年度実施となる。

令和 5 年度 放射線機器管理支部会研修会

日時：令和 6 年 1 月 30 日(火) 19:00～21:00

配信元：川内市医師会立市民病院／Web のみ

参加者：34 名

(会員 32 名、その他職種 2 名)

内容：特別講演：1 演題、テーマ討論：5 演題

鹿児島県医療画像情報精度管理士部会

第 21 回 鹿児島県医療情報システム研究会・

令和 5 年度鹿児島県医療画像情報精度管理士部会
研修会 合同開催 (WEB 開催)

日時：令和 6 年 2 月 27 日(火) 18:30～20:30

配信元：ひらやま脳神経外科／Web のみ

参加者：137 名

(会員 99 名、非会員 2 名、他職種 11 名、
学生 2 名、メーカー 21 名、一般 2 名)

内容：メーカー講演：2 演題、施設報告：3 演題

10. 鹿児島さくら RT

令和5年度 鹿児島さくら RT 研修会

日時：令和6年2月29日(木) 19:00~21:00

配信元：相良病院/Webのみ

参加者：44名

(会員41名、非会員3名)

内容：講演：3演題

11. ホームページの活用促進

ホームページの更新に伴い内容の充実を図り、会員、県民に積極的に情報を発信した。また各地域からも情報発信しやすいシステムを構築した。

今年度は会員専用のページや各種申請のオンライン手続きを開始した。また、鹿児島診療放射線技師会専用LINEでJARTからの情報や研究会等案内を行った。

12. 各種イベント等への積極的参加・協力

他関係団体との共催である市民健康まつり等に積極的に参加し、他職種との連携を深めるとともに公益法人としての社会的役割を果たした。

○市民健康まつり

今年度は、10月30日(日)に西原商会アリーナで開催。来場者数は1,262人と多く参加者があった。鹿児島県診療放射線技師会からは、14人が参加し、例年行っていた骨密度測定とレントゲン週間にちなんだパネル展示と放射線相談を実施した。今年度は子供に焦点を当てた企画(Medkids)では、CTによる断層像、3Dなどの画像を使って、野菜当てクイズを行った。

骨密度測定：354名(整理券250枚配布)

放射線相談・展示：8名

スタンプラリー(野菜当てクイズ)：60名

○つながる想い in かごしま

今年度は、5月7日(日)にかごしま県民交流センター・県政記念公園で開催。講演会、バルーンリリース、アート展などを行っています。鹿児島県診療放射線技師会は今年度も後援を行った。

13. 原子力防災支援

原子力災害時に適正かつ迅速に対応するために必要な研修に出席した。また、県が開催する原子力防災訓練に参画し、放射線に関する専門家としての放射線技師の存在を誇示した。

(原子力防災訓練)

令和5年度鹿児島県原子力防災訓練

今年度は、県内3会場で行われた避難退域時検査実施訓練に参加。

日時：令和6年2月10日(土)

場所(参加人数)：

日置会場：吹上中央公民館(8名)

出水会場：出水市総合運動公園(3名)

長島会場：旧サンセット長島跡地広場(2名)

内容：指定箇所検査・確認検査

14. 地域保健協力事業

鹿児島市医師会より委託を受けた鹿児島市夜間急病センター放射線業務に対して、診療放射線技師を派遣する。業務の安全ならびに質の高い画像情報を提供するために必要な連絡調整会議を開催した。

派遣登録者数:22名(令和6年3月1日より21名)

令和5年度 第1回 夜間急病センター研修会

(リーダー研修会：合同開催)

日時：令和5年10月12日(木) 19:00~20:30

場所：Web開催

対象：派遣登録者(全員)

参加者：21名

令和5年度 第2回 夜間急病センター研修会

日時：令和5年12月3日(日) 9:00~18:00

開催地：鹿児島市勤労者交流センター

参加人数：27名(会員27名)

(夜間急病センター当直者19名、一般会員8名)

令和5年度 第3回 夜間急病センター研修会
日時：令和6年3月18日(月)19:00～20:00
配信元：いづろ今村病院/Webのみ
参加者：夜間急病センター勤務者のみ対象
(対象者：21名、参加者：20名)

第1回 連絡調整会議

日時：令和5年10月12日(土)20:30～20:45
場所：Web開催
対象：派遣登録者(全員)
参加者：21名

第2回 連絡調整会議

日時：令和5年12月5日(土)20:30～20:55
場所：鹿児島市勤労者交流センター
対象：派遣登録者(全員)
参加者：19名

第3回 連絡調整会議

日時：令和6年3月18日(月)20:10～20:30
場所：Web開催
対象：派遣登録者(全員)
参加者：20名

15. その他の事業

環境測定事業

日時：令和5年9月、令和6年3月
施設：ふくい耳鼻咽喉科クリニック
測定者：西郷康正

日時：令和5年9月、令和6年3月
施設：耳鼻咽喉科田上クリニック
測定者：西元辰也・隈浩司

出版事業

令和5年05月：ニュース68号発行
令和5年10月：第137号会報発行
令和6年01月：第138号会報発行

組織拡大事業

フレッシュャーズセミナー、各支部研修会、各研究会等にて会員勧誘を実施した。

また、今年度は新たに鹿児島医療技術専門学校の4年生を対象に、診療放射線技師会の活動報告と入会の案内を行った。

診療放射線技師会活動報告と入会案内

日時：令和4年2月22日(木)13:00～13:45
配信元：相良病院
対象：鹿児島医療技術専門学校 診療放射線学科
4年生(全員)・既卒生
参加者：47名

医療被ばく低減事業

未実施

関連団体との連携

「告示研修」の実施など公益社団法人日本診療放射線技師会や他関連団体との協力事業を推進し、連携の強化を図った。

令和5年厚生労働省告示第273号研修における実技研修会(告示研修会)

会場：鹿児島医療技術専門学校 平川キャンパス
対象：診療放射線技師

令和5年度 第1回告示研修会

日時：令和5年7月9日(水)8:00～18:00
参加人数：46名(会員46名、非会員0名)

令和5年度 第2回告示研修会

日時：令和5年9月17日(日)8:00～18:00
参加人数：37名(会員37名、非会員0名)

令和5年度 第3回 告示研修

日時：令和5年12月3日(日)9:00～18:00
参加人数：38名(会員25名、非会員13名)

令和5年度 第4回 告示研修

日時：令和6年1月21日(日) 9:00~18:00

参加人数：28名(会員19名、非会員9名)

業務拡大に伴う統一講習会

日時：令和5年8月06日(日) 8:00~18:00

令和5年9月11日(金:祝)8:00~18:00

場所：鹿児島医療技術専門学校 平川キャンパス

参加人数：13名(会員13名、非会員0名)

サテライト事業

Web配信による研修会、講演会等を開催する。

各研究会、各管理支部会等：38回

総会、理事会、各種会議等：23回

令和5年度 理事会・常務理事会

第1回 理事会：令和5年5月21日(日)

第2回 理事会：令和5年6月18日(日)

第3回 理事会：令和5年10月14日(土)

第4回 理事会：令和6年3月2日(土)

第1回 常務理事会：令和5年9月24日(日)

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	772,968	1,517,263	△ 744,295
流動資産合計	772,968	1,517,263	△ 744,295
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	7,900,000	7,900,000	0
建物	2,356,640	2,764,520	△ 407,880
基本財産合計	10,256,640	10,664,520	△ 407,880
(2) 特定資産			
事務所建替資産	14,325,742	14,324,734	1,008
特定資産合計	14,325,742	14,324,734	1,008
(3) その他固定資産			
什器備品	425,200	796,851	△ 371,651
その他の固定資産合計	425,200	796,851	△ 371,651
固定資産合計	25,007,582	25,786,105	△ 778,523
資産合計	25,780,550	27,303,368	△ 1,522,818
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	60,000	0	60,000
流動負債合計	60,000	0	60,000
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	60,000	0	60,000
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(2) その他一般正味財産	25,720,550	27,303,368	△ 1,582,818
一般正味財産	25,720,550	27,303,368	△ 1,582,818
正味財産合計			
負債及び正味財産合計	25,780,550	27,303,368	△ 1,522,818

(1-2)

貸借対照表 内訳表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益事業会計	法人会計	合 計
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	0	772,968	772,968
会計間貸借勘定	1,967,264	△ 1,967,264	0
流動資産合計	1,967,264	△ 1,194,296	772,968
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	4,740,000	3,160,000	7,900,000
建物	1,413,984	942,656	2,356,640
基本財産合計	6,153,984	4,102,656	10,256,640
(2) 特定資産			
事務所建替積立資産	8,595,445	5,730,297	14,325,742
特定資産合計	8,595,445	5,730,297	14,325,742
(3) その他固定資産			
什器備品	425,197	3	425,200
その他固定資産合計	425,197	3	425,200
固定資産合計	15,174,626	9,832,956	25,007,582
資産合計	17,141,890	8,638,660	25,780,550
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	60,000	0	60,000
流動負債合計	60,000	0	60,000
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計			
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	17,081,890	8,638,660	25,720,550
正味財産合計	17,081,890	8,638,660	25,720,550
負債及び正味財産合計	17,141,890	8,638,660	25,780,550

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	1,008	0	1,008
受取入金			
受取会費			
正会員会費	4,120,980	3,824,000	296,980
九州地域放射線技師会会費	303,500		303,500
事業収益			
研修会会費	155,559	26,690	128,869
広告収益	330,000	330,000	0
環境測定事業	48,700	30,000	18,700
業務委託収益			
日本放射線技師会業務委託	95,800	85,000	10,800
受取負担金			
受取負担金		284,000	△ 284,000
市医師会負担金	292,800	292,000	800
雑収益			
受取利息	7	8	△ 1
雑収益	80,516	148,236	△ 67,720
経常収益計	5,428,870	5,019,934	408,936
(2) 経常費用			
事業費	5,516,335	3,713,783	1,802,552
広告宣伝費	370,000	0	370,000
旅費交通費	949,257	257,154	692,103
通信運搬費	546,152	377,621	168,531
消耗品費	199,130	169,836	29,294
印刷製本費	997,810	508,200	489,610
修繕費	60,500	0	60,500
光熱水料費	0	54,981	△ 54,981
賃借料	82,400	372,000	△ 289,600
保険料	0	43,528	△ 43,528
諸謝金	1,122,196	603,000	519,196
支払手数料	226,056	0	226,056
租税公課	36,350	93,927	△ 57,577
支払負担金	0	287,000	△ 287,000
寄付金	50,000	0	50,000
会議費	178,432	17,006	161,426
減価償却費	371,651	611,658	△ 240,007
雑費	326,401	317,872	8,529
管理費	1,495,353	1,526,836	△ 31,483
広告宣伝費	66,000	0	66,000
会議費	73,300	128,183	△ 54,883
旅費交通費	77,400	195,310	△ 117,910
通信運搬費	227,890	267,089	△ 39,199
消耗品費	15,557	45,496	△ 29,939
修繕費	0	38,500	△ 38,500
印刷製本費	0	0	0
光熱水料費	125,500	74,642	50,858
保険料	72,546	29,018	43,528
諸謝金	0	459,370	△ 459,370
九州地域放射線技師会負担金	298,000		298,000
租税公課	41,700	82,807	△ 41,107
支払手数料	28,215		28,215
減価償却費	407,880	170,426	237,454
雑費	61,365	35,995	25,370
経常費用計	7,011,688	5,240,619	1,771,069

科	目	当 年 度	前 年 度	増 減
	評価損益調整前経常増減額	△ 1,582,818	△ 220,685	△ 1,362,133
	基本財産評価損益等	0	0	0
	特定資産評価損益等	0	0	0
	投資有価証券評価損益等	0	0	0
	評価損益等計	0	0	0
	当期経常増減額	△ 1,582,818	△ 220,685	△ 1,362,133
2.	経常外増減の部			
(1)	経常外収益			
	固定資産売却益	0	0	0
	経常外収益計	0	0	0
(2)	経常外費用			
	固定資産売却損	0	0	0
	経常外費用計	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	△ 1,582,818	△ 220,685	△ 1,362,133
	一般正味財産期首残高	27,303,368	27,524,053	△ 220,685
	一般正味財産期末残高	25,720,550	27,303,368	△ 1,582,818
II	指定正味財産増減の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	0	0	0
	指定正味財産期末残高	0	0	0
III	正味財産期末残高			
	正味財産期末残高	25,720,550	27,303,368	△ 1,582,818

正味財産増減計算書 内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	605	403	1,008
受取入金			
受取会費			
正会員会費	2,060,490	2,060,490	4,120,980
九州地域放射線技師会会費	151,750	151,750	303,500
事業収益			
研修会会費	155,559		155,559
広告収益	330,000		330,000
環境測定事業	48,700		48,700
業務委託収益			0
日本放射線技師会業務委託	95,800		95,800
受取負担金			0
受取負担金			0
市医師会負担金	292,800		292,800
受取寄付金			0
雑収益			0
受取利息		7	7
雑収益	12,890	67,626	80,516
経常収益計	3,148,594	2,280,276	5,428,870
(2) 経常費用			
事業費	4,614,108	902,227	5,516,335
広告宣伝費	370,000		370,000
旅費交通費	725,007	224,250	949,257
通信運搬費	497,844	48,308	546,152
消耗品費	194,901	4,229	199,130
印刷製本費	997,810		997,810
修繕費	60,500		60,500
賃借料	82,400		82,400
諸謝金	749,700	372,496	1,122,196
支払手数料	168,819	57,237	226,056
租税公課	200	36,150	36,350
寄付金	50,000		50,000
会議費	41,986	136,446	178,432
減価償却費	371,651	0	371,651
雑費	303,290	23,111	326,401
管理費	867,412	627,941	1,495,353
広告宣伝費	39,600	26,400	66,000
会議費	43,980	29,320	73,300
旅費交通費	46,440	30,960	77,400
通信運搬費	136,734	91,156	227,890
消耗品費	9,334	6,223	15,557
修繕費			0
印刷製本費			0
光熱水料費	75,300	50,200	125,500
保険料	43,528	29,018	72,546
諸謝金	0	0	0
九州地域放射線技師会負担金	149,000	149,000	298,000
諸会費	0	0	0
租税公課	25,020	16,680	41,700
支払手数料	16,929	11,286	28,215
減価償却費	244,728	163,152	407,880
雑費	36,819	24,546	61,365
経常費用計	5,481,520	1,530,168	7,011,688

科	目	公益目的	法人会計	合 計
	評価損益調整前経常増減額	△ 2,332,926	750,108	△ 1,582,818
				0
	評価損益等計	0	0	0
	当期経常増減額	△ 2,332,926	750,108	△ 1,582,818
2.	経常外増減の部			
(1)	経常外収益			
	経常外収益計	0	0	0
(2)	経常外費用			
	経常外費用計	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	△ 2,332,926	750,108	△ 1,582,818
	他会計振替額			0
	一般正味財産期首残高	19,414,816	7,888,552	27,303,368
	一般正味財産期末残高	17,081,890	8,638,660	25,720,550
II	指定正味財産増減の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	0	0	0
	指定正味財産期末残高	0	0	0
III	正味財産期末残高			
	正味財産期末残高	17,081,890	8,638,660	25,720,550

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっています。
- (2) 消費税等の会計処理
消費税の納税義務はありません。

2. 会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高
【基本財産】				
土地	7,900,000	0	0	7,900,000
建物	2,764,520	0	407,880	2,356,640
小計	10,664,520	0	407,880	10,256,640
【特定資産】				
事務所建替積立資産	14,324,734	1,008	0	14,325,742
小計	14,324,734	1,008	0	14,325,742
合計	24,989,254	1,008	407,880	24,582,382

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
【基本財産】				
土地	7,900,000		7,900,000	
建物	2,356,640		2,356,640	
小計	10,256,640	—	10,256,640	—
【特定資産】				
事務所建替積立資産	14,325,742	—	14,325,742	—
小計	14,325,742	—	14,325,742	—
合計	24,582,382	—	24,582,382	—

5. 担保に供している資産

該当事項はありません。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高	備考
建物	11,330,000	8,973,360	2,356,640	
什器備品	5,072,040	4,646,840	425,200	
合計	16,402,040	13,620,200	2,781,840	

7. 重要な後発事象

該当する事項はありません。

附属明細書

- 1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記に記載
- 2. 引当金等の明細
該当事項はありません

財 産 目 録
令和6年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
	現金	手許保管	運転資金	20,629
	預金	普通預金 鹿児島銀行	運転資金	640,350
		郵便振替口座		111,989
流動資産合計				772,968
(固定資産)				
基本財産	土地	132.24㎡	60%は公益目的事業に使用	7,900,000
	建物	67.9㎡	40%は管理業務に使用	2,356,640
特定資産	事務所建替資産	定期郵便貯金	事務所建替の財源として	14,325,742
		郵便振替口座	積み立てている資産取得資金	
その他固定資産	什器備品		公益事業及び管理業務に使用	425,200
固定資産合計				25,007,582
資産合計				25,780,550
(流動負債)				
	前受金	広告収入次年度分		60,000
流動負債合計				60,000
(固定負債)				
固定負債合計				
負債合計				60,000
正味財産				25,720,550

令和5年度 監査報告書

令和6年 5月 11日

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会

会 長 太田原 美郎 殿

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会

監 事 米山 光明 

監 事 池田 睦 

監事兩名は、令和5年度の技師会運営に関する監査を技師会事務所において実施し、協議の上、この監査報告を作成したので以下の通り報告する。

記

1. 監査の概要

理事会に出席するほか、会長及び担当理事から技師会運営に関する報告を受け、会務執行、事業計画及び会計処理について監査した。

2. 監査の結果

(1) 会務執行

会員の異動状況報告、各種の議事録、文書綴りを閲覧した結果、定款及び総会決議に違反する事実は認められず的確に処理されていることを認める。

(2) 事業について

事業計画に基づき、順調に執行運営されていることを認める。

(3) 会計処理

収支状況について収支計算書ならびに証拠書類などを審査した結果、不整の連は認められず、諸帳簿類の記載ならびに会計処理は間違いなく処理されていることを認める。

(4) その他

特に指摘する事項は認められない。

以上

令和6年度事業計画（案）

令和6年度事業計画案の説明を行います。

鹿児島県診療放射線技師会は令和6年度も公益社団法人として、前年度と同じように公益社団法人にふさわしい事業を行います。これまで研究会はWEB開催のみでしたが、今後は現地とWEB開催を併用するなど積極的な活動を行いたいと考えております。

公益事業として、「つながる想い in かごしま」およびピンクリボンイベントへ参画し、がん患者さんへの理解とイベントのサポートを行います。また、市民公開のレントゲン週間イベントにつきましては、市民公開講座の開催を予定いたしております。これらの活動を通して、診療放射線技師並びに鹿児島県診療放射線技師会の啓発を行ってまいります。

定例事業としましては、フレッシュャーズセミナー、リーダー及びリーダー育成研修会、春季並びに秋季学術大会の開催を予定しており、春季は鹿児島市で秋季は南薩地域で開催いたします。また、各地域研修会、研究会並びに管理士部会、そして鹿児島さくらRTの集い等も例年同様に開催いたします。

令和6年度の原子力防災訓練には鹿児島県診療放射線技師会も参加予定です。地域保健協力事業として引き続き鹿児島市夜間急病センター支援事業を行い、担当者による研修会も3回以上予定です。

上記の通り、鹿児島県内の診療放射線技師の職業倫理の高揚と資質の向上並びに鹿児島県民の健康増進に寄与する事業を行います。令和6年度も鹿児島県診療放射線技師会活動にご理解並びにご協力をよろしくお願いいたします。

本会創立の目的である、診療放射線学および診療放射線に関する技術の向上発展ならびに県民保健の維持発展に寄与するため以下の事業を行う。

1. 生涯学習の推進

安全で質の高い医療の提供を求める県民の負託に応えるためには、卒後教育が重要である。また、大きく変化していく診療放射線技術や社会情勢に対応すべく生涯学習の推進に努める。

2. フレッシュャーズセミナーの開催

社会人・医療人としての心構えや接遇についての教育を行うとともに、臨床現場ですぐに役に立つ一般撮影・CT・MRI等の研修を行う。

3. リーダー及びリーダー育成研修会

放射線部門のリーダーとして、いかにして優秀な人材を育てていくか、どのように行動することが県民や病院に貢献できるか等の研修会を開催する。また、次代を担うリーダーの育成に努めるとともに施設間の情報の交換を行う。

4. レントゲン週間に放射線展ならびに市民公開講座の開催

日本診療放射線技師会が推進する『国民から見える職業へ』・『期待に応える専門職種として』のスローガンを達成するために、県民と直に接し、放射線技師の業務等を紹介するため、当会独自のイベントを開催する。また、市民公開講座や無料検診を行うことにより、より公益性を高めていく。

5. 特別企画の実施

公益性に富む一般講演会の開催を企画し、知識・素養も身につける。

6. 地域研修会の実施

6地域（鹿児島地域、南薩地域、北薩地域、霧島・始良地域、大隅地域、大島地域）研修会を理事会の企画において開催する。会員、非会員に限らず出席を可能とし、会員増加の促進を図る。

7. 学術大会の実施

学術大会は春季と秋季に開催している。春季は鹿児島市開催、秋季は各地域の持ち回りで企画・開催しているが、令和5年度は南薩地域で開催する。各地域の持ち回りで開催することにより、地域間の協力体制の強化を図る。

8. 各研究会の実施

消化管研究会、CT研究会、MRI研究会、鹿児島乳腺画像研究会、鹿児島超音波研究会、鹿児島X線撮影研究会を県の事業とし、研究会の充実を図るとともに非会員に対して入会の勧誘を積極的に行う。また、各研究会の活動が充実していくための助成を行い、CT研究会、MRI研究会に関しては各地域でも開催できるよう企画する。

9. 管理士部会による研修会開催

安全で質の高い医療を提供するためには、放射線管理・機器管理・画像情報管理を適正に行うことが不可欠である。これらの管理は、日々の業務の中で継続的に実践することが重要である。より効率的な管理を行ううえで必要な講習会を管理士部会主催で開催する。

10. 鹿児島さくらRT

業務改善を推進し、ライフワークバランスを目指した研修会等を開催する。

11. ホームページの活用促進

ホームページのリニューアルを行い、閲覧のしやすさや内容の充実を図り、会員、県民に積極的に情報を発信する。また各支部からも情報発信しやすいシステムを構築する。メールアドレスを公開し、公益社団法人として一般市民からの問い合わせに応じる体制作りを整える。

1 2. 各種イベント等への積極的参加・協力

他関係団体との共催である市民健康まつり等に積極的に参加し、他職種との連携を深めるとともに公益社団法人としての社会的役割を果たす。

1 3. 原子力防災支援

原子力災害時に適正かつ迅速に対応するために必要な人材育成を行う。また、県が開催する原子力防災訓練に参画し、放射線に関する専門家としての診療放射線技師の存在を誇示していく。

1 4. 地域保健協力事業

鹿児島市医師会より委託を受けた鹿児島市夜間救急センター放射線業務に対して、診療放射線技師を派遣する。業務の安全ならびに質の高い画像情報を提供するために必要な連絡調整会議や研修会を開催する。

1 5. その他の事業

環境測定事業	環境測定を放射線管理士部会の組織下に置き、事業の見直しを検討する。各施設からの依頼を受け、環境測定を実施するとともに、放射線施設や機器の安全性に関する指導を行う。
出版事業	会報を2回発行するとともに、緊急連絡が必要な場合にはニュースを発行する。また、会員からの投稿も積極的に勧誘し掲載する。
組織拡大事業	各種の行事に非会員も参加させ、入会の勧誘を行う。 技師養成校への定期的な訪問による勧誘を行う。
医療被ばく低減事業	被ばく線量測定を行い、DRLs2020を基に撮影条件等の検討を行う。
関連団体との連携	「告示研修」、「業務拡大に伴う統一講習会」の実施など公益社団法人日本診療放射線技師会や他関連団体との協力事業を推進し、連携の強化を図る。
Web 配信事業	Web 配信による研修会、講演会等を開催する。
放射線教育事業	小学校・中学校で放射線に関する正しい理解と、医療に欠かせないものであることを紹介。放射線教育の更なる充実を図るため、放射線に関する専門家としての診療放射線技師の社会的役割を果たす。

正味財産増減予算書内訳書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公 益 事 業 会 計	法 人 会 計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
受取入会金	0	0	0
受取会費			0
正会員会費	2,170,000	2,170,000	4,340,000
九州地域放射線技師会会費	155,000	155,000	310,000
事業収益			
研修会会費	200,000	0	200,000
広告収益	750,000	0	750,000
環境測定事業	100,000	0	100,000
業務委託収益			0
日本診療放射線技師会業務委託	100,000	0	100,000
受取負担金			0
受取負担金	0	0	0
市医師会負担金	300,000	0	300,000
受取寄付金	0	0	0
雑収益			
受取利息	10,000	0	10,000
雑収入	300,000	0	300,000
経常収益計	4,085,000	2,325,000	6,410,000
(2) 経常費用			
事業費			
広告宣伝費	400,000	0	400,000
旅費交通費	600,000	200,000	800,000
通信運搬費	500,000	100,000	600,000
消耗品費	200,000	50,000	250,000
修繕費	70,000	0	70,000
印刷製本費	1,000,000	0	1,000,000
光熱水料費	0	0	0
賃借料	200,000	50,000	250,000
保険料	0	0	0
諸謝金	600,000	400,000	1,000,000
支払手数料	130,000	60,000	190,000
租税公課	10,000	60,000	70,000
会議費	60,000	150,000	210,000
減価償却費	400,000	0	400,000
福利厚生費	300,000	0	300,000
雑費	200,000	50,000	250,000
管理費			
広告宣伝費	50,000	50,000	100,000
旅費交通費	60,000	40,000	100,000
通信運搬費	100,000	100,000	200,000

消耗品費	50,000	50,000	100,000
修繕費	50,000	50,000	100,000
印刷製本費	0	0	0
光熱水料費	120,000	80,000	200,000
賃借料	0	0	0
保険料	48,000	32,000	80,000
諸謝金	0	0	0
九州地域放射線技師会費負担金	160,000	160,000	320,000
支払手数料	30,000	20,000	50,000
租税公課	30,000	20,000	50,000
会議費	60,000	40,000	100,000
減価償却費	244,728	163,152	407,880
雑費	50,000	50,000	100,000
経常費用計	5,722,728	1,975,152	7,697,880
			0
当期経常増減額	△ 1,637,728	349,848	△ 1,287,880
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計		0	0
当期経常外増減額	0	0	0
			0
当期一般正味財産増減額	△ 1,637,728	349,848	△ 1,287,880
他会計振替額			0
一般正味財産期首残高			26,415,020
一般正味財産期末残高			25,127,140
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	0	25,127,140

(2-1)

正味財産増減計算予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度予算	前年度予算	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
受取入会金	0	0	0
受取会費			
正会員会費	4,340,000	4,200,000	140,000
九州地域放射線技師会会費	310,000	300,000	10,000
事業収益			
研修会会費	200,000	200,000	0
広告収益	750,000	600,000	150,000
環境測定事業	100,000	100,000	0
業務委託収益			
日本診療放射線技師会業務委託	100,000	100,000	0
受取負担金			0
受取負担金	0	0	0
市医師会負担金	300,000	300,000	0
受取寄付金	0	0	0
雑収益			0
受取利息	10,000	500	9,500
雑収入	300,000	300,000	0
		0	0
経常収益計	6,410,000	6,100,500	309,500
(2) 経常費用			
事業費	5,790,000	5,310,968	479,032
広告宣伝費	400,000	400,000	0
旅費交通費	800,000	450,000	350,000
通信運搬費	600,000	600,000	0
消耗品費	250,000	250,000	0
修繕費	70,000	100,000	△ 30,000
印刷製本費	1,000,000	1,010,000	△ 10,000
光熱水料費	0	0	0
賃借料	250,000	450,000	△ 200,000
保険料	0	0	0
諸謝金	1,000,000	1,050,000	△ 50,000
支払手数料	190,000		190,000
租税公課	70,000	140,000	△ 70,000
会議費	210,000	130,000	80,000
減価償却費	400,000	330,968	69,032
福利厚生費	300,000	0	300,000
雑費	250,000	400,000	△ 150,000
管理費	1,907,880	1,677,880	230,000
広告宣伝費	100,000	100,000	0

旅費交通費	100,000	100,000	0
通信運搬費	200,000	100,000	100,000
消耗品費	100,000	100,000	0
修繕費	100,000	100,000	0
印刷製本費	0	0	0
光熱水料費	200,000	180,000	20,000
賃借料	0	100,000	△ 100,000
保険料	80,000	90,000	△ 10,000
諸謝金	0	0	0
支払手数料	50,000	0	50,000
租税公課	50,000	50,000	0
九州地域放射線技師会負担金	320,000	300,000	20,000
会議費	100,000	50,000	50,000
減価償却費	407,880	407,880	0
雑費	100,000	0	100,000
経常費用計	7,697,880	6,988,848	709,032
当期経常増減額	△ 1,287,880	△ 888,348	△ 399,532
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計		0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,287,880	△ 888,348	△ 399,532
一般正味財産期首残高	26,415,020	27,303,368	△ 888,348
一般正味財産期末残高	25,127,140	26,415,020	△ 1,287,880
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	25,127,140	26,415,020	△ 1,287,880

切り取り

郵便はがき

8 9 2 - 8 7 9 0

鹿児島市新屋敷町二六一十三
さがらパス通りクリニック 放射線技術部

(受取人)

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

総務理事 大迫 俊一 宛



鹿児島東郵便局
承認
1219

差出有効期間
2024年6月
30日 まで
<切手不要>

切り取り



切り取り

第 103 回 定 時 総 会

ご出席

(どちらかに ○ をしてください。)

ご欠席 (WEB 参加も含む)

会員番号

氏名

やむを得ず定時総会に欠席の方は、下記の「議決権執行書」もしくは「委任状」どちらか一方を記載してください
(双方記載は議決権執行書を優先)

議決権執行書

議案書を確認し、以下のとおり議決権を行使いたします。

議案第 1 号 令和 5 年度 事業報告に関する件	(賛成・否決)
議案第 2 号 令和 5 年度 決算報告に関する件	(賛成・否決)
議案第 3 号 令和 5 年度 監査報告に関する件	(賛成・否決)
議案第 4 号 令和 6 年度 事業計画案に関する件	(賛成・否決)
議案第 5 号 令和 6 年度 収支予算案に関する件	(賛成・否決)

(各議案について、いずれか一つに ○ を付けてください。)

委 任 状

私は、(公社)鹿児島県診療放射線技師会 第 103 回定時総会議事に関する評決について、会員 () 殿を代理人として定め、一切の議決権を委任いたします。
(議長委任は無効、空欄の場合は、会長に委任いたします。)

切り取り

本ハガキは 6 月 7 日 (金) まで に返信してください。

